



三菱 [業務用] ロスナイ

〈天井埋込形マイコンタイプ〉(フリープラン対応形)

	〈100V〉	〈単相200V〉
形名	LGH-N15RX3, LGH-N25RX3, LGH-N35RX3, LGH-N50RX3, LGH-N65RX3, LGH-N80RX3, LGH-N100RX3	LGH-N15RX3D, LGH-N25RX3D, LGH-N35RX3D, LGH-N50RX3D, LGH-N65RX3D, LGH-N80RX3D, LGH-N100RX3D

据付工事説明書

販売店・工事店様用

据付工事を始める前に、この据付工事説明書をよくお読みください。

据付工事は、必ず専門の工事店で実施してください。
間違った工事は、故障や事故の原因になります。
お客様ご自身では据付けないでください。
(安全や機能の確保ができません)

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。
据付工事が終わりましたらこの説明書および「据付工事説明書 別冊」とともに、
お客様に必ずお渡しください。
別冊の取扱説明書に従って、正しい使い
かたをご説明ください。

- この製品には別売のリモコン他、システム部材が必要です。カタログ等により別途ご用意ください。
- ジーニアスリモコン(PGL-61DR2)以外のリモコンを使用した場合、ご使用できない機能があります。

もくじ

ページ

据付けの前に

安全のために必ず守ること	… 2～3
標準据付例	… 4
外形寸法図と各部のなまえ	… 4

据付けの前に

据付工事

据付方法	… 5～10
電気工事	… 10～20
機能設定	… 20
据付工事後の確認	… 20

据付工事

試運転

試運転	… 21～23
-----	---------

試運転

お客様への説明 ……………… 裏表紙

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
 注意	誤った取扱いをしたとき、軽傷または建物・機械などの物的損害に結びつくもの

■ “図記号”の意味は次のとおりです。

	禁止		浴室据付禁止
	分解禁止		指示に従い必ず行う
	アース線を必ず接続せよ		

!**警告**

 禁止	高温（40°C以上）や直接炎があたったり、油煙の多い場所には据付けない 火災の原因		端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する。 端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子などを使用して確実に接続する 接続に不備があると火災の原因	
	有害ガス・腐食性成分（*）を含んだガスが発生する場所には据付けない (*) 機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など 絶縁劣化による漏電火災や故障の原因		電気工事は、電気工事士の有資格者が規定・基準（*）や据付工事説明書に従い据付ける。また、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する (*) 「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因	
	塩害・温泉害などの発生している場所には据付けない 絶縁劣化による漏電火災や故障の原因		漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する 漏電した場合火災の原因	
	電気・電子機器等濡れて困るものとの上には据付けない 漏電火災や故障の原因		金属製ダクトがメタルラス・ワイヤラス・ステンレス板などの金属と、接触しないように取付ける 接触して取付けると、漏電した場合火災の原因	
 分解禁止	改造や必要以上の分解をしない 火災・感電・けがの原因		本体より室外側ダクトは室外に向かって下りこう配（1/30以上）になるよう据付ける。 また、断熱処理を確実に行う 雨水の浸入による漏電・火災や建物・機械などの損傷の原因	
	 浴室据付禁止		浴室など湿気の多い場所には、本体・リモコンとも据付けない 感電および故障の原因	コントロールボックスカバーは施工後、必ず閉める ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因 システム部材取付け後、カバー内側に出たネジ先端部はネジキャップで必ず保護する
	 アース線を必ず接続せよ		単相200V製品はアースを確実に取付ける アースを取り付けないと故障や漏電のときに感電の原因	据付け後長期間ご使用にならない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因
	 指示に従い必ず行う		定格電圧、制御容量範囲内で使用する 間違った電源で使用すると、火災や感電の原因	
	外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因			
	電気工事の際は、必ず分電盤のブレーカーを切る 感電やけがの原因			
	本体の据付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがの原因			

⚠ 注意



指示に従い
必ず行う

吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指
定のものを使用する

指定以外のものを使用すると、落下の原因



指示に従い
必ず行う

据付けの際は手袋を着用する

着用しないとけがの原因

お願い

- 霧・もや・高湿度な空気を吸い込むと、フィルター、ロスナイエレメントから水滴が垂れ、機外に水が漏れることがあります。このような場合は、運転モードの切換えをしてください。（高湿度空気を吸い込む場合は、換気モードをロスナイ換気で運転してください。濃霧や強風などで雨水が浸入するおそれがある場合は、運転を停止してください。天地逆設置の場合は水受皿の付け替えが必要です）
- 温水プール、浴室、きのこ栽培室、岩盤浴等の高温多湿(30°C以上、相対湿度80%以上の時)になる地域や霧の多発地帯*を使用する場合、エアフィルターやロスナイエレメント内部に結露が生じてドレンが発生することがあります。このような条件下においては業務用ロスナイは使用できませんので、耐湿形ロスナイをご使用ください。

* 霧の多発地域

- 視程50m~200mの濃い霧が3時間以上/日発生する地域
- 山間部、湖、海岸など霧・もや・高湿度な空気発生のある地域
- 1か月に複数回、1晩以上霧が継続して発生する地域
(右表は上記にあてはまる地域を気象庁「気象統計情報」より抽出したものです。右表以外の地域でも上記にあてはまる地域は霧多発地域となります)
(霧・もや：視界範囲が10km以下となる高湿度状況)

都道府県名	地域名
北海道	稚内、北見枝幸、釧路、雄武、紋別、網走、寿都、江差、苫小牧、室蘭、浦河、帶広、根室
青森	八戸
岩手	宮古
宮城	石巻
福島	小名浜
栃木	奥日光
千葉	銚子、館山
静岡	石廊崎、御前崎
長野	軽井沢
高知	室戸岬
長崎	平戸、雲仙岳
熊本	阿蘇山

- 建物内が負圧になる設置環境では、運転停止時や間欠運転時に霧・もや・高湿度空気が室内に侵入することがありますので、電動ダンパーを併用してください。寒冷地・外風の強い場所や建物内が負圧になる設置環境の場合は、運転停止時に室内外の圧力差や外風により、冷気・外風等が侵入することがあります。侵入防止策としてOA(外気)側およびEA(排気)側に当社推奨の電動ダンパー(AT-100・150・200・250DE(株式会社メルコエアテック製))を併用してください。電動ダンパーを併用する場合、送風機運転モニター出力(電気工事7項を参照)の使用を検討ください。設置する風路に合わせ、電動ダンパーの開閉と送風機の運転を連動させることができます。

- 別売システム部材(耐外風雨・霧浸入防止フード)と組み合わせてご使用をご検討ください。なお、製品内に水が溜まっている場合は、水滴を拭き取る等の清掃を行い、ご使用ください。

- 寒冷地などでは使用条件範囲内で使用する場合でも、外気条件と天井裏温湿度条件によって、本体表面およびダクト接続部他が結露、結氷するおそれがあります。このような条件下で使用される場合は断熱材重ね貼りの追加工事を実施してください。別売の「寒冷地設置用断熱材」(受注対応品)を準備しています。

(寒冷地設置用断熱材の各機種サイズへの裁断および商品への貼り付けはお客様にて実施となります)

※ 結露条件例 外気: 0°C以下、設置場所露点温度: 10°C以上 (天井裏温度22°C以上で相対湿度50%以上のときなど)

- 電気・電子機器や濡れて困るものの上に製品を設置しないでください。外気や設置場所の温湿度条件により製品から露が落ちて、破損や汚損につながる場合があります。

- 雨水浸入防止対策を施してください。(標準据付例の雨水浸入防止をご参考ください)

- 天井材は共鳴しにくい材質をご使用ください。

- 給気・排気が混ざらない配管工事を行ってください。

- 一般的に、郊外建物などで給気側屋外フード近くに窓面などがあり、照明光に虫が集まりやすい環境下においては、給気側屋外フードから本体内に侵入した虫が、室内に侵入する場合があります。食品工場や病院などの衛生建物でこのような環境にあり、虫侵入を防止する対応としては、別売のシステム部材「虫侵入防止ユニット」をご使用ください。(本体への装着は工事店にて実施となります)

- 室外側のOA(外気)ダクトに過大な圧力損失がかかるとRA(還気)側からSA(給気)側への空気漏れが増加する傾向があります。OA側に過大な圧力損失がからないように施工してください。

- 風量調節ダンパーを使用する場合、OA(外気)側とEA(排気)側で極端にアンバランスに設定しないでください。

- 外壁面の給排気口の位置はダクト径の3倍以上離してください。

- 製品運搬時・保管時には製品を縦置きしないでください。

- 次のようなダクト工事はしないでください。(風量低下や異常音発生の原因になります)

● 極端な曲げ



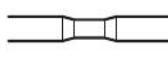
● 多数の曲げ



● ダクト接続フランジの
すぐそばでの曲げ

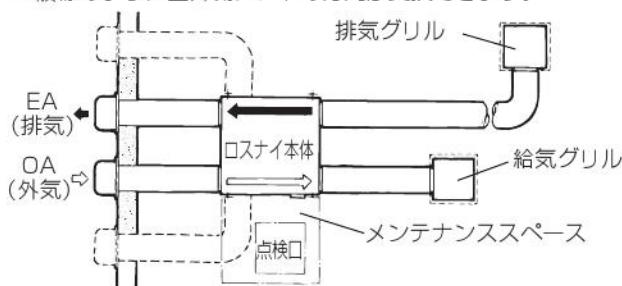


● ダクト径を極端にしほる

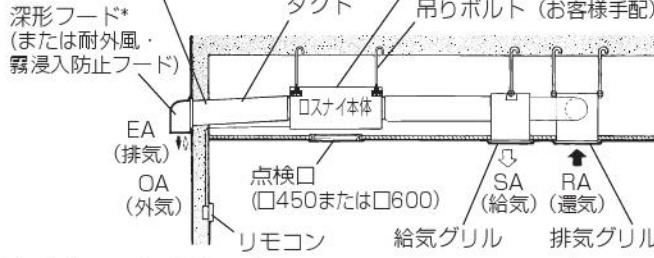


標準据付例

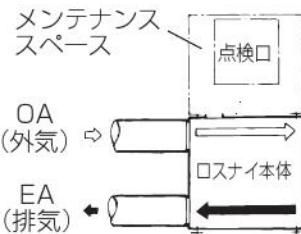
※破線のように室外側ダクトの方向が変換できます。



ダクト下りこう配1/30以上(壁側へ)
および下表の距離を確保(雨水浸入防止)



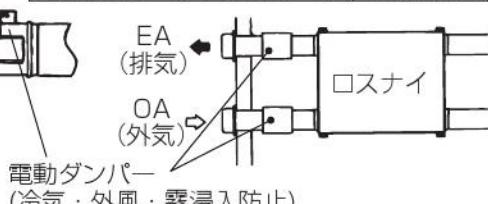
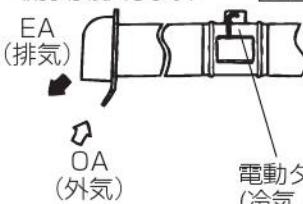
※天地逆据付も可能です



ダクト接続フランジ
を取付けてから、メ
ンテナンスカバーを
取りはずし、180°
回転させ再度据付
けます。

*ベントキャップ、丸形フー
ドは雨水が直接かかるところでは、使用できません。
(雨水が浸入します)

形名	距離
LGH-N15~N65R3タイプ	1m以上
LGH-N80・N100R3タイプ	2.5m以上

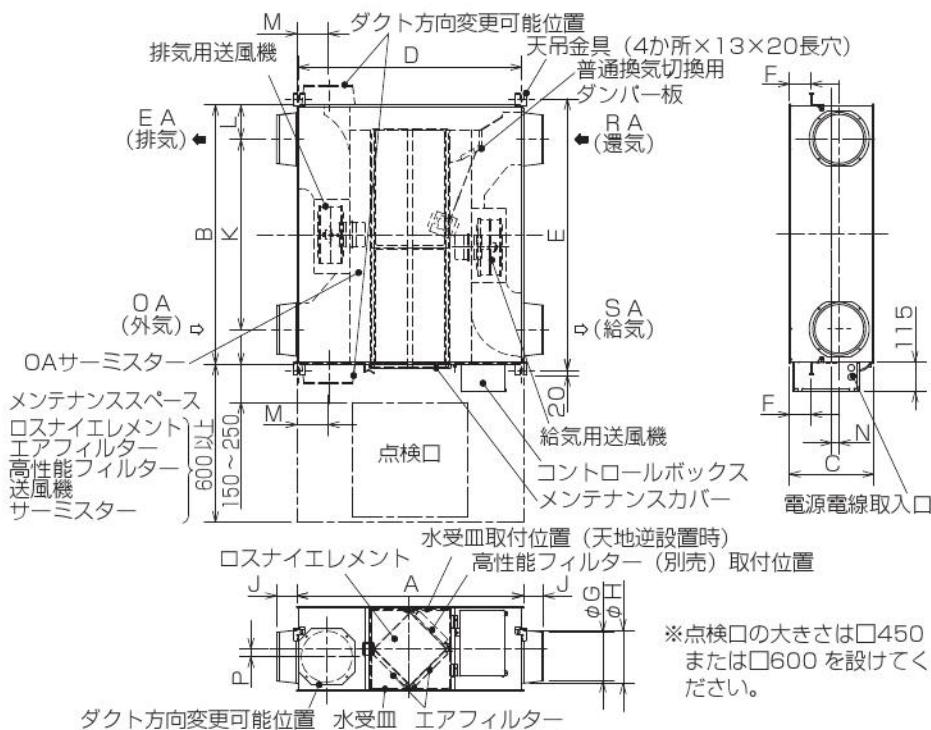


■冬期に凍結のある地域では、ロスナイ停止時における外気(冷気)侵入防止として、電動ダンパーなどを併用することをおすすめします。

■商品本体に雨水浸入がないように室外側(OA, EA)ダクトに雨水浸入対策を施してください。

- (例) ●給・排気口に雨水浸入防止フード(お客様手配)を取付ける。
- 室外に向かって下りこう配(1/30以上)になるように十分距離をとって施工する。

外形寸法図と各部のなまえ



付属部品

取付ネジ

十字穴付トラスタッピンネジ
4×8 (フランジ接続用)
.....16本

十字穴付トラス小ネジ
M5×10 (天吊金具固定用)
.....4本



ダクト接続フランジ.....4個
(SA, EA側に重ねて入っています)



ネジキャップ.....6個



アルミテープ.....1枚

単位(mm)

形名	外 形						天吊金具ピッチ			ダクト接続フランジ						ダクトピッチ						質量 (kg)
	A	B	C	D	E	F	呼び径	G	H	J	K	L	M	N	P							
LGH-N15R3タイプ	780	610	289	768	658	65	100	97.5	110	54	450	80	119	50	50	22						
LGH-N25R3タイプ	780	735	289	768	782	65	150	142	160	64	530	102.5	102	30	30	23						
LGH-N35R3タイプ	888	874	331	875	921	85	150	142	160	64	650	112	124	55	55	32						
LGH-N50R3タイプ	888	1016	331	875	1063	85	200	192	208	79	745	135.5	124	30	30	36						
LGH-N65R3タイプ	908	954	404	895	1001	70	200	192	208	79	692	131	124	40	0	48						
LGH-N80R3タイプ	1144	1004	404	1131	1051	77	250	242	258	79	690	157	165	40	40	58						
LGH-N100R3タイプ	1144	1231	404	1131	1278	77	250	242	258	79	917	157	165	40	40	64						

据付方法

■据付工事の流れ



この製品は、室外側ダクト (EA・OA) の方向を変更することができます。
詳しくは「室外側ダクト (EA・OA) の方向を変更する場合」を参照してください。

ロスナイ本体の据付け

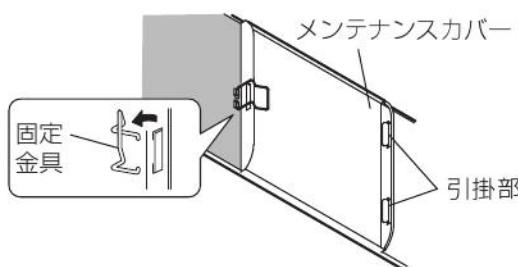
この製品は天地逆設置にて使用することができます。

天地逆で使用する場合は、本体据付け前に水受皿を付け替えてください。

付け替えを行わない場合、外気や設置場所の温湿度条件によっては製品から露が落ちるおそれがあります。

天地逆設置で使用する場合 (LGH-N15 ~ N50 タイプ)

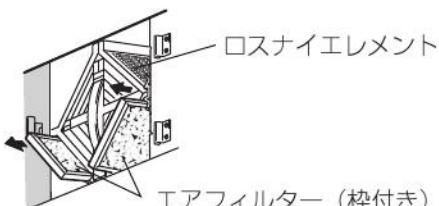
1



メンテナンスカバーをはずす

1. 固定金具をはずしてメンテナンスカバーを開く。
2. メンテナンスカバーを引掛部から取りはずす。

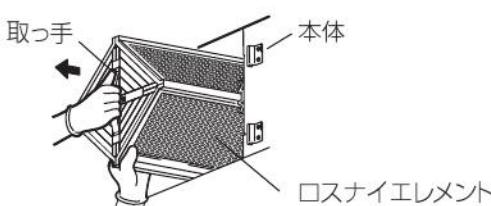
2



エアフィルターを引き出す

ロスナイエレメントの下側左右に一枚ずつ入っているエアフィルターを引き出す。

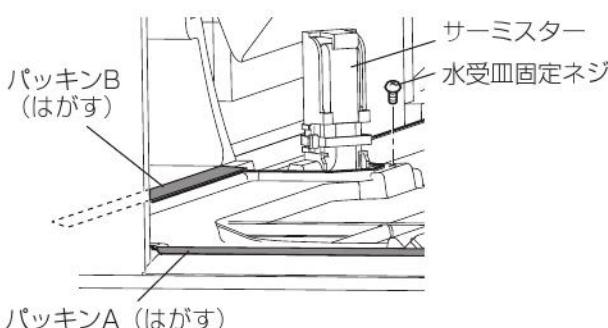
3



ロスナイエレメントを引き出す

ロスナイエレメントの取っ手を持ち、本体から引き出す。

4



水受皿固定ネジをはずす

サーミスター横の水受皿固定ネジをはずし、細長いテーブ状のパッキンA（手前側：約200～400mm*）、パッキンB（手前左側奥：約200～400mm*）をはがす。

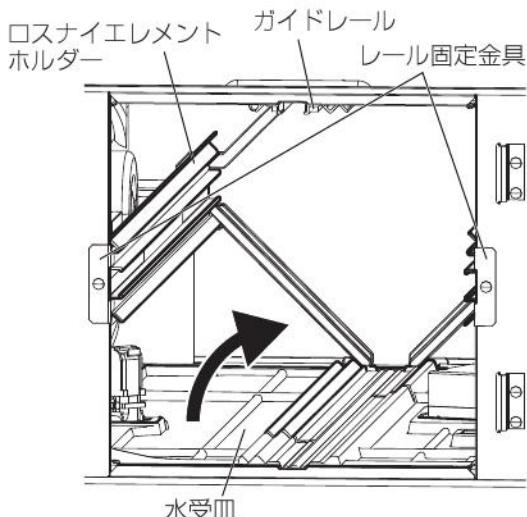
* パッキンの長さは機種により異なります。

メモ

- はがしたパッキンA、パッキンBは使用しません。

据付方法 つづき

5



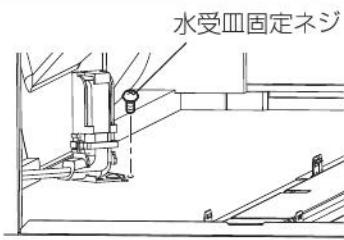
水受皿をはずす

左図の矢印のように水受皿を傾けて本体から取り出す。

お願い

- 水受皿が取り出しにくい場合は、ネジ止めされているレール固定金具（2か所）を取りはずし、ロスナイエレメントホルダーを本体から取りはずしてください。（ネジとロスナイエレメントホルダーは再取付け（8項）まで破損させないように保管してください）
- 水受皿を破損させないように作業してください。

6

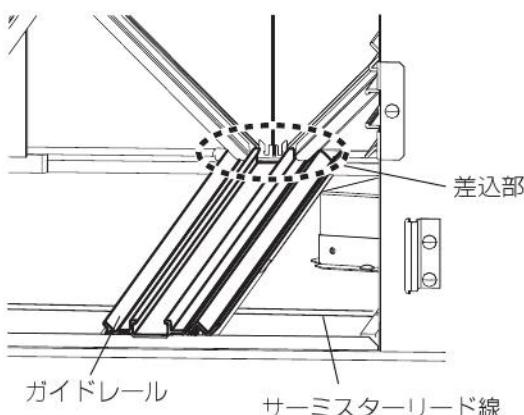


水受皿固定ネジを元のネジ穴に取付ける

お願い

- ネジを取付けないと風量低下や異常音発生の原因になります。

7

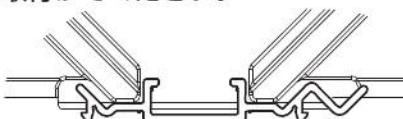


ガイドレールを付け替える

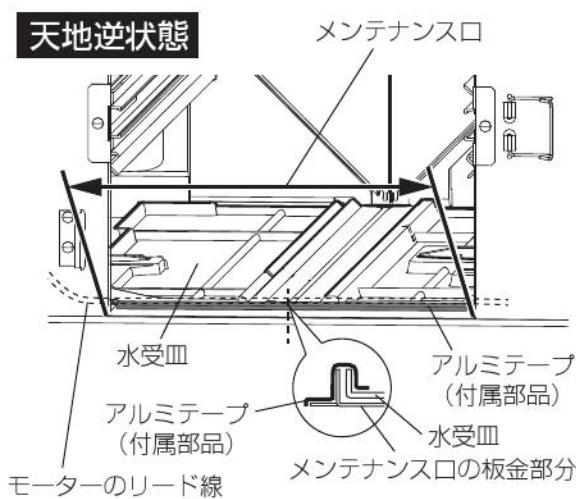
上部のガイドレール（5項の図を参照）を取りはずし、下側へ取付ける。

お願い

- ガイドレールの付け替え時、サーミスターリード線をかみこまないようにリード線を元の位置にしたうえでガイドレールを取付けてください。
- ガイドレールは本体奥側の差込部形状（下図参照）に合わせて取付けてください。



8



水受皿を取付ける

製品を天地逆状態にして本体に水受皿を取付ける。

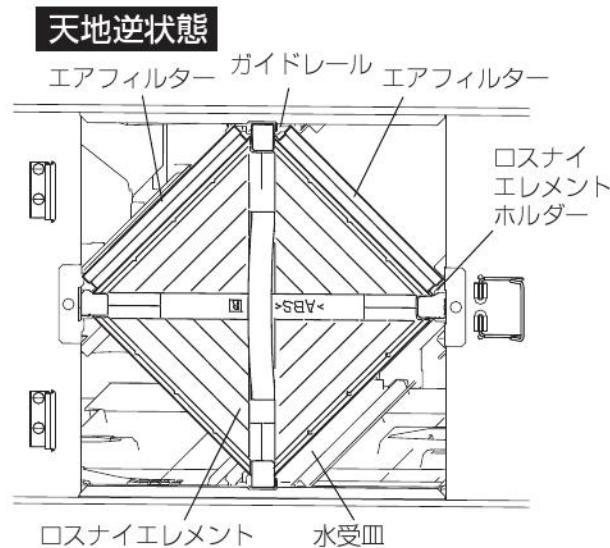
お願い

- 水受皿が浮かないようにモーターのリード線は水受皿のくぼみに合わせて取付けてください。
- 水受皿は正設置状態と同じ向きに取付けてください。（5項の図を参照）
- 水受皿を取付け後、水受皿の端とメンテナス口の板金を付属のアルミテープで固定してください。（アルミテープはメンテナス口のサイズに合わせて切断してください）
- レール固定金具、ロスナイエレメントホルダーを本体から取りはずした場合、水受皿を取付け後、ロスナイエレメントホルダーを本体に取付け、レール固定金具をネジ止めしてください。

■アルミテープ切断寸法

形名	LGH-N15R ₃ タイプ	LGH-N25R ₃ タイプ	LGH-N35・50R ₃ タイプ
切断寸法	227mm×50mm	260mm×35mm	303mm×35mm

9



ロスナイエレメント、エアフィルターを取付ける

ロスナイエレメントのコーナー部（4か所）をガイドレール、ロスナイエレメントホルダー、水受皿のレール部に確実に差し込み、本体に納める。

ロスナイエレメントとガイドレール・ロスナイエレメントホルダーの溝に合わせてエアフィルターを差し込む。

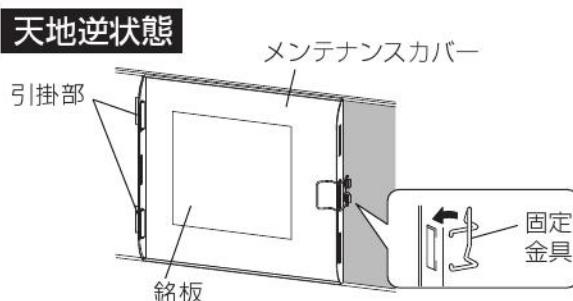
お願い

- エアフィルターを取付けるとき、ロスナイエレメントの表面を傷付けないようにしてください。
- エアフィルターを入れ忘れないようにしてください。入れ忘れるときロスナイエレメントにごみが詰まり、風量低下の原因になります。

メモ

- 天地逆取付けされている場合、エアフィルターはロスナイエレメントの上側に配置されます。

10



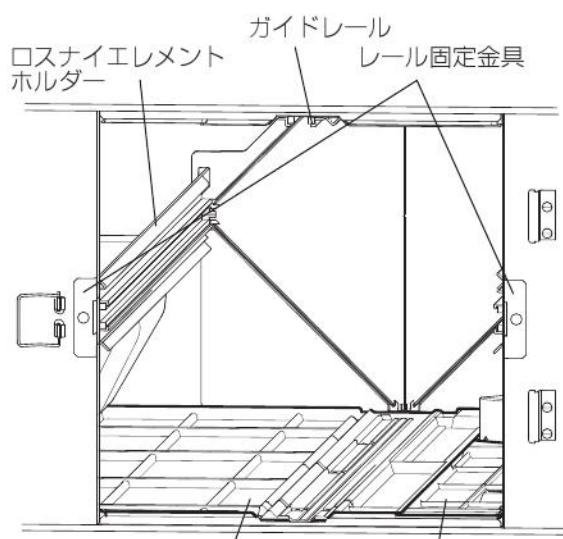
メンテナンスカバーを取付ける

引掛部にメンテナンスカバーの穴を引っ掛け、固定金具をかけて固定する。（銘板が読める方向に取付ける）

天地逆設置で使用する場合 (LGH-N65 ~ N100 タイプ)

下記以外は LGH-N15 ~ N50 タイプと同じです。

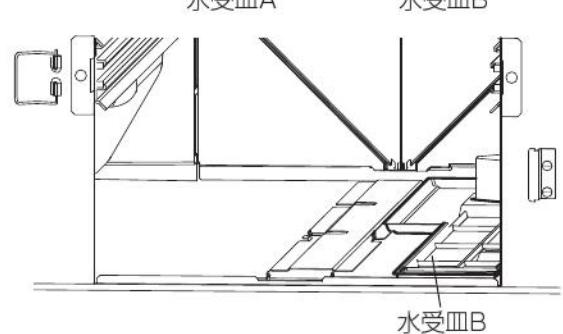
5



水受皿Aを傾けて本体から取り出す

お願い

- 水受皿が取り出しにくい場合は、ネジ止めされているレール固定金具（2か所）を取りはずし、ロスナイエレメントホルダーを本体から取りはずしてください。（ネジとロスナイエレメントホルダーは再取付け（8項）まで破損させないように保管してください）
- 水受皿を破損させないように作業してください。

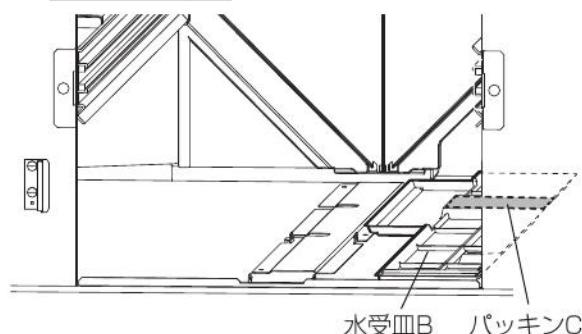


水受皿Bを本体から取り出す

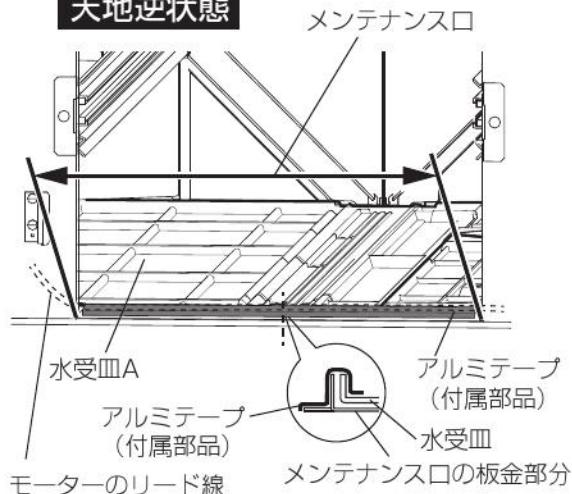
据付方法 つづき

8

天地逆状態



天地逆状態



水受皿Bを取付ける

製品を天地逆状態にして、本体に水受皿Bを本体底面部に貼り付けてあるパッキンCの左端に合わせて取付ける。

お願い

- 水受皿は正設置状態と同じ向きに取付けてください。
(⑤項の図を参照)

メモ

- 水受皿Bは水受皿Aを取付けることにより位置固定されます。

水受皿Aを取付ける

お願い

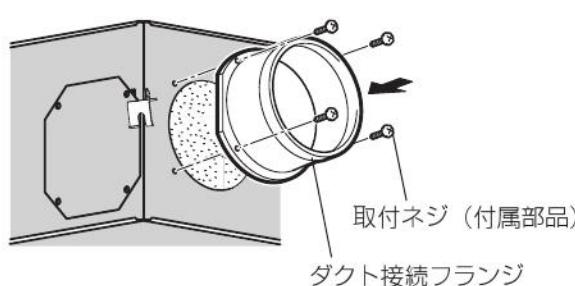
- 水受皿が浮かないようモーターのリード線は水受皿のくぼみに合わせて取付けてください。
- 水受皿は正設置状態と同じ向きに取付けてください。
- 水受皿Bの上に水受皿Aを正設置状態と同様に重ねて取付けてください。
- 取付け後、水受皿A、Bの端とメンテナンス口の板金を付属のアルミテープで固定してください。(アルミテープはメンテナンス口のサイズに合わせて切断してください)
- レール固定金具、ロスナイエレメントホルダーを本体から取りはずした場合、水受皿を取付け後、ロスナイエレメントホルダーを本体に取付け、レール固定金具をネジ止めしてください。

■アルミテープ切断寸法

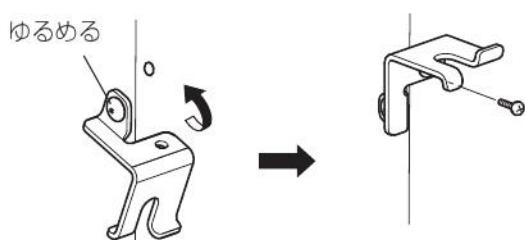
形名	LGH-N65R ₃ タイプ	LGH-N80・100R ₃ タイプ
切断寸法	355mm×50mm	380mm×30mm

ロスナイ本体天吊据付け・ダクト接続

1



2



ダクト接続フランジの取付け

ダクト接続フランジを付属の取付ネジで本体に取付ける。

- 必ず付属の取付ネジを使用してください。市販のネジを使用する場合、ネジサイズによりダンパー板に干渉し、動作不良となります。

お願い

- ダクト接続フランジを取付ける前に本体内に異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。
- SA・RA側にパッキン付きのダクト接続フランジを取付けてください。

天吊金具の固定

1.天吊金具のネジをゆるめる。

2.ゆるめたネジを中心に天吊金具を90°回転させ、水平にする。

3.ゆるめたネジおよび付属の取付ネジ(十字穴付トラス小ネジ M5)で製品にしっかりと締付け、固定する。

※天吊金具は工場出荷時、本体にたたんだ状態で固定されています。

3



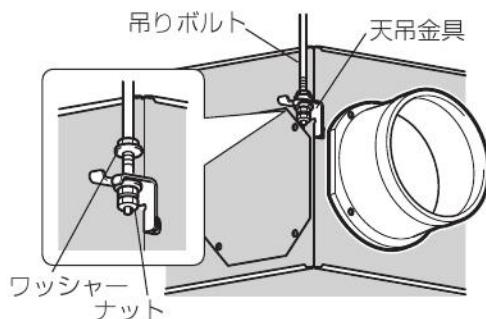
ワッシャー・ナットの取付け

あらかじめ埋め込んである市販の吊りボルト(M10~M12)に左図のように市販のワッシャー(外径M10で21mm以上、M12で24mm以上)・ナットを取付ける。ゆるみ防止のためダブルナットで確実に取付ける。

【防振ゴム（お客様手配）を使用する場合】

防振ゴム（お客様手配）を使用する場合は、強度低下の原因になる可能性がありますので、左記のような施工を推奨します。

4



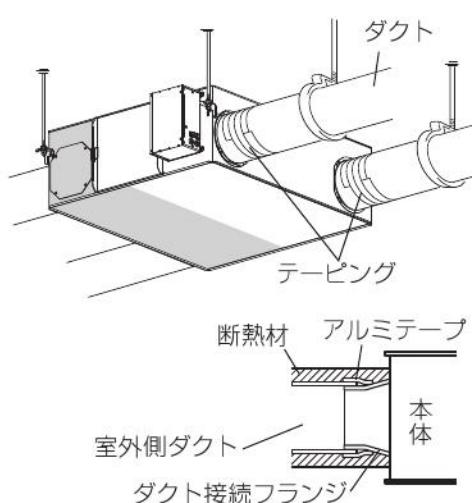
本体の固定

1. 天吊金具を吊りボルトに引っ掛け、本体が水平になるよう調整する。
2. ゆるみ防止のためダブルナットで確実に締め付ける。

お願い

- 本体天吊取付角度は水平もしくは1°以内にしてください。
- 本体を吊り上げるとき、コントロールボックスに力が加わるような取扱いをしないでください。
- 吊りボルトは振れ止め用耐震支持部材にて必ず補強を行ってください。
- 天井内に本体を吊り上げたときに本体の下に人が通れるスペースがある場合は、必要に応じて本体下面のネジ先端に付属のネジキャップを取付けてください。

5



ダクトの接続

1. ダクトはロスナイ本体に力が加わらないよう天井から吊るす。
2. ダクトをダクト接続フランジにしっかりと差し込み、風漏れないよう市販のアルミテープを巻き付ける。
3. 室外側ダクト2本（外気・排気ダクト）には、結露防止のため必ず断熱材を巻き付ける。

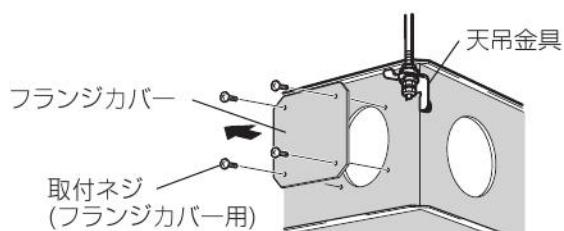
お願い

- ダクト接続をする前にダクトの中に切り粉、異物（紙・ビニールなど）が入っていないことを確認してください。
- ダクト接続工事の際に本体内部のダンパー板には触れないでください。
- 夏期冷房時、ロスナイ本体が設置される雰囲気温度が高温になると予想される場合は、室内側ダクト配管にも断熱処理してください。
- 各ダクトの接続は、本体（室内側）の表示を確認してください。（SA/OA、RA/EA）

室外側ダクト(EA・OA)の方向を変更する場合

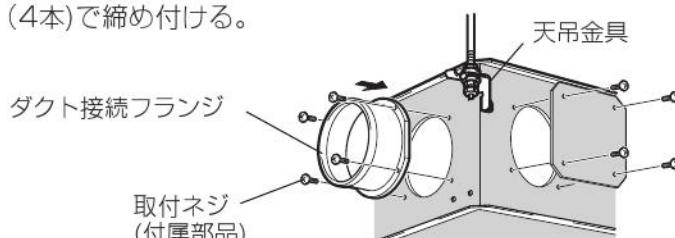
フランジカバーの取りはずし

フランジカバーの取付ネジ(4本)をはずし、フランジカバーを取りはずす。



ダクト接続フランジの取付け

1. ダクト接続フランジを、付属の取付ネジで本体に取付ける。
2. 取りはずしたフランジカバーを、取りはずした取付ネジ(4本)で締め付ける。



据付方法 つづき

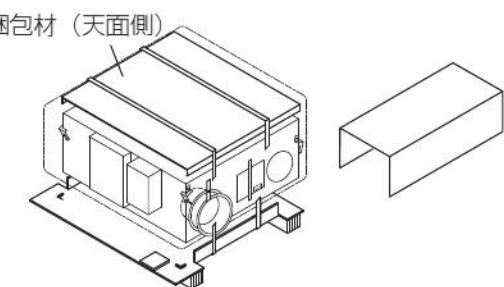
梱包材を利用したロスナイメンテナンススペースの確保

製品の梱包材を利用して、ロスナイのメンテナンスに必要なスペースを可視化できます。

ロスナイを吊る位置や、天井内のダクト配管等の位置取りの参考としてご利用ください。

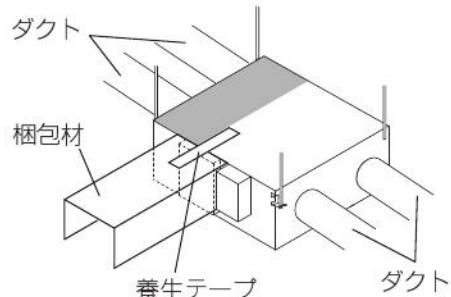
梱包材の加工

1. 製品から梱包材を取りはずす。
2. 梱包材（天面側）を黒線に沿って「コ」の字に折り曲げる。



梱包材（加工後）の取付け

ロスナイ本体を据付け後、メンテナンスカバーを覆うように梱包材を本体に取付け、上面部を養生テープ（お客様手配）で固定する。



お願い

- 養生テープは本体に貼付けてある断熱材を避けて貼付けてください。
- ロスナイ本体および周辺機器の施工工事完了後、梱包材を取りはずしてください。

電気工事

この製品はシステム構成により電気工事の方法が異なります。
それぞれ必要な部分の電気工事を行ってください。

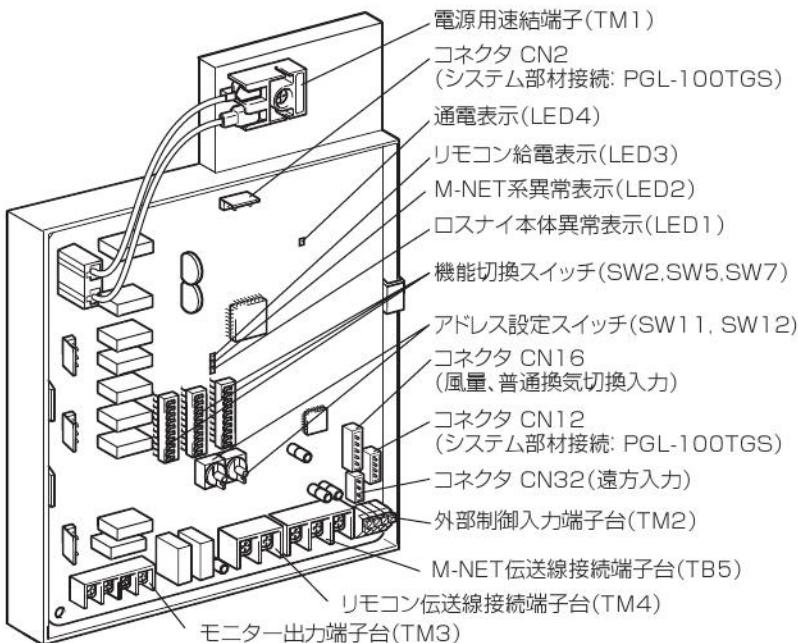
！警告

- 定格電圧、制御容量範囲内で使用する
指定以外で使用すると、火災や感電の原因
- 端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する
接続に不備があると火災の原因
- 電気工事は、電気工事士の有資格者が規定・基準（*）や据付工事説明書に従い据付ける
また、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する
(*)「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」
電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因

お願い

1. 端子台の配線は、ネジに緩みがないよう指定のトルク以下で確実に行ってください。
より線を使用する場合、芯線のヒゲ線が他のより線や端子台と接触しないよう注意してください。
2. リモコン伝送線用、M-NET 伝送線用の端子台には 100V、200V の電源線を接続しないでください。
(制御回路基板が故障します)
3. 伝送線どうし、および電源線はそれぞれ 5cm 以上離して配線してください。
4. 伝送線、電源線はメンテナンスの邪魔にならないように配線してください。

コントロールボックス内の名称



■記号説明（100V、200V 共通）

記号	名 称
SW2	機能切換スイッチ
SW5	機能切換スイッチ
SW7	機能切換スイッチ
SW11	アドレス設定スイッチ（1 の位）*1
SW12	アドレス設定スイッチ（10 の位）*1
TB5	端子台（M-NET 伝送線接続 *1：無極性 2 線）
TM1	端子台（AC 電源入力）
TM2	端子台（外部制御入力接続）
TM3	端子台（普通換気、異常、運転モニター出力用）
TM4	端子台（リモコン伝送線接続：無極性 2 線）
CN2	コネクタ（システム部材接続：PGL-100TGS）
CN12	コネクタ（システム部材接続：PGL-100TGS）
CN16	コネクタ（風量、普通換気切換入力）
CN32	コネクタ（遠方入力）

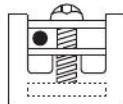
*¹ は三菱ビル空調管理システム（MELANS）に接続する場合に使用します。

端子台 TM4、TB5 の接続方法

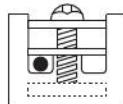


100V, 200V 電源を絶対に接続しないでください

正しい接続箇所

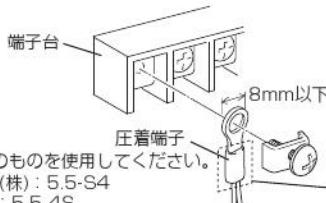


間違った接続箇所



- 端子台に複数本接続する場合は、圧着端子などを使用して確実に接続してください。
 - PVC線等の単線は利用できません。
 - 端子台のネジは $1.2N \cdot m$ より大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。

圧着端子
接続例

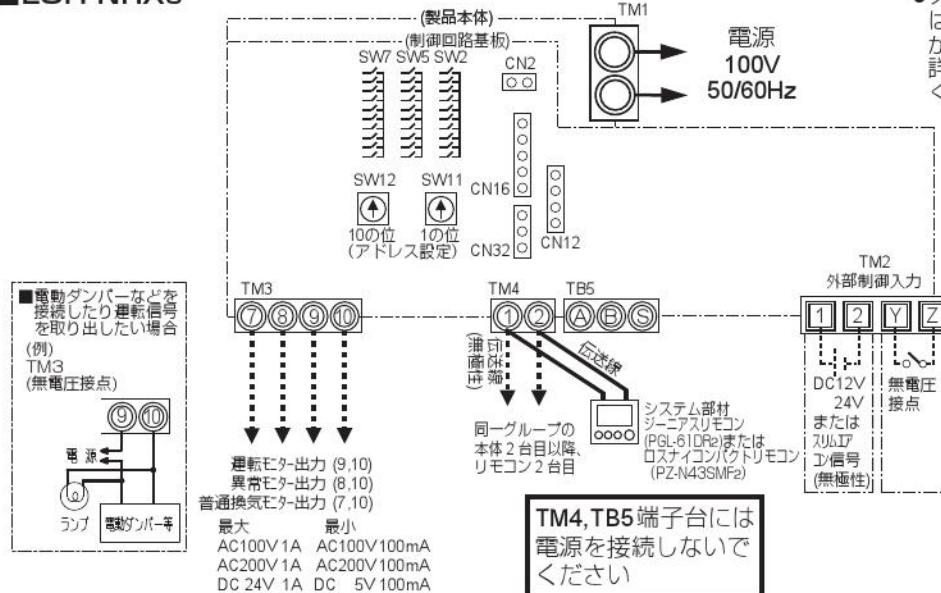


※外径が8mm以下のものを使用してください。
例) 日本圧着端子(株) : 5.5-S4
日本端子(株) : 5.5-4S

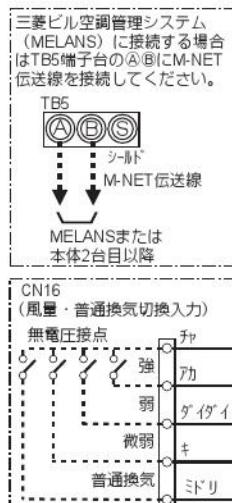
結線図

※太線および破線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。
コネクタ等は、はずさないでください。

GH-NRX₃

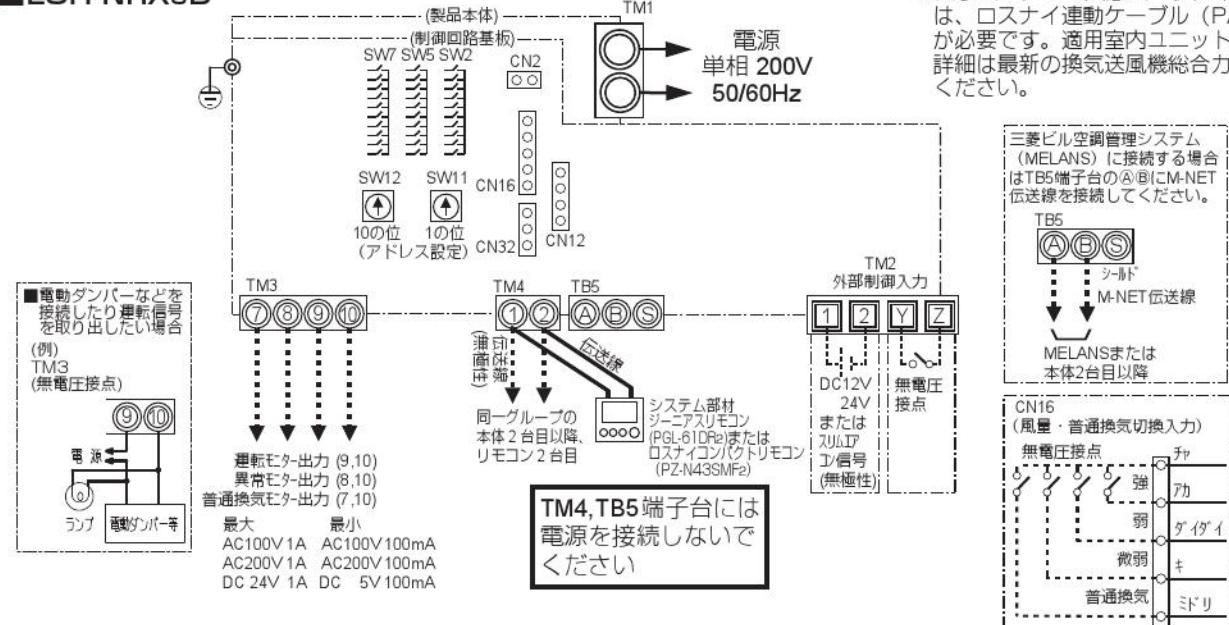


- スリムエアコン人感ムーブアイ連動風量制御には、ロスナイ連動ケーブル（PAC-SB81VS）が必要です。適用室内ユニットおよび注意事項詳細は最新の換気送風機総合力カタログをご確認ください。



電気工事 つづき

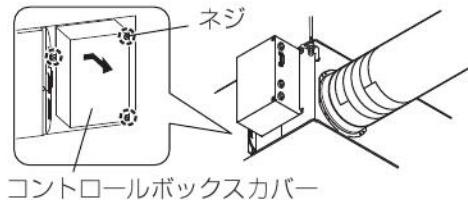
LGH-NRX3D



●スリムエアコン人感ムードアイ連動風量制御には、ロスナイ連動ケーブル（PAC-SB81VS）が必要です。適用室内ユニットおよび注意事項詳細は最新の換気送風機総合力タログをご確認ください。

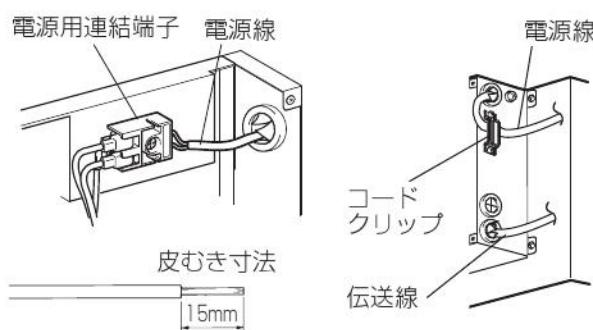
結線のしかた

1



ネジ3本（※か所）をゆるめて、コントロールボックスカバーを右側（天地逆設置の場合は左側）にスライドしてはすす。

2



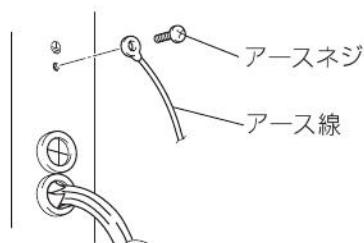
電源線(単線φ1.6 例VVF)を電源用速結端子に表示されている皮むきゲージに合わせ皮むきし、電源用速結端子に確実に差し込む。

●電源線はコードクリップで固定する。

お願い

- 電線の皮むき寸法は15mmしてください。皮むき寸法が長いと芯線どうしが接触して短絡するおそれがあります。
- 電源線を伝送線端子台に接続しないように注意してください。
- 電源線と伝送線、信号線は別々の引出口から引き出してください。また、引き出し後は誤動作防止のため、電源線、伝送線、信号線をそれぞれ5cm以上離して配線してください。

3



単相200Vの場合、アース工事をする。

コントロールボックスカバーに締め付けてあるアースネジをはずして、アース線を取付ける。

4

システム構成に合わせて13~20ページを参照して結線を行う。

5

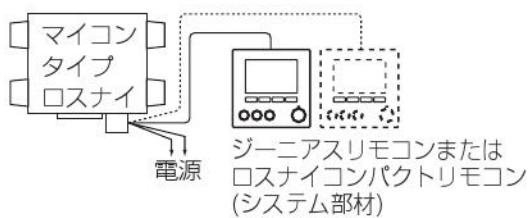
結線が終わったら、元通りコントロールボックスカバーを取り付け、①でゆるめたネジ3本を締める。

システム構成

……必要なところを接続してください。

- 1 ジーニアスリモコン(PGL-61DR2)、ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF2)と接続する場合
- 2 空調機などの外部機器と連動する場合
- 3 ビル管理システム等パルス出力機器と連動する場合
- 4 ロスナイを複数台運転する場合
- 5 複数の外部機器と連動する場合
- 6 運転信号・異常信号・普通換気(バイパス換気)信号を取り出したい場合
- 7 電動ダンパー・補助送風機等を接続する場合
- 8 外部で強/弱/微弱ノッチ切換をする場合(市販のCO₂センサー等と接続する場合)
- 9 外部で普通換気(バイパス換気)にする場合
- 10 遠方/手元切換・発停入力(レベル信号)を使用する場合
- 11 三菱マルチエアコン、または三菱ビル空調管理システム(MELANS)と接続する場合

1 ジーニアスリモコン(PGL-61DR2)、ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF2)と接続する場合



ジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコンからの伝送線をリモコン伝送線接続端子(TM4)の①②(無極性)に確実に接続する。

線種: 2芯シース付ケーブル

線径: 0.3mm²

以下の別売ケーブルが使用できます。

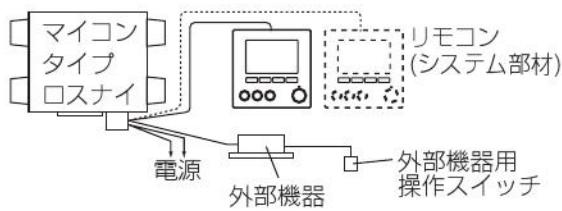
PAC-YT81HC(10m), PAC-YT82HC(20m)

- リモコンは2台まで接続することができます。2台目も同様に接続してください。
- 種類の異なるリモコンを併用することはできません。2台接続する場合は、同じ種類のリモコンをご使用ください。
- リモコン伝送線の総延長は200m(ロスナイー・リモコン間、ロスナイー・ロスナイ間、リモコンー・リモコン間の総合計)以内としてください。

お願い

- 電源線およびM-NET伝送線を接続しないように注意してください。
- リモコン伝送線の接続方法は11ページを参照してください。

2 空調機などの外部機器と連動する場合



(1)外部機器の出力信号線を外部制御入力端子(TM2)に接続します。

(2)パルス入力スイッチ(SW2-2)が「OFF」になっているか確認します。(出荷状態は「OFF」に設定されています)

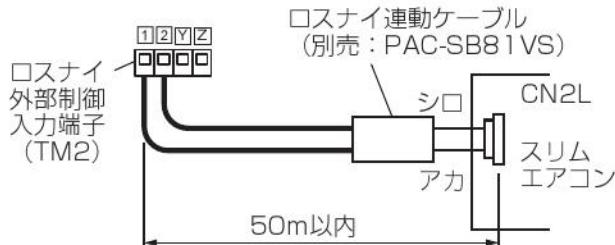
お願い

- 出力信号のON時間およびOFF時間は10秒以上にしてください。
- 線の抜差時、端子を19.6Nより大きな力で押さえないでください。

外部機器の出力信号のタイプにより接続方法が異なります

電気工事 つづき

三菱スリムエアコンのとき



ロスナイ連動ケーブルのコネクタ側を室内ユニット基板上のCN2Lに接続し、リード線側をロスナイ外部制御入力端子(TM2)の①②(無極性)に接続する。

- このシステムではロスナイのロスナイコンパクトリモコンは使用できません。
- ロスナイは三菱ビル空調管理システムに接続することはできません。
- スリムエアコン1台とロスナイ1台の連動が可能です。（複数台のスリムエアコンとの連動はできません）

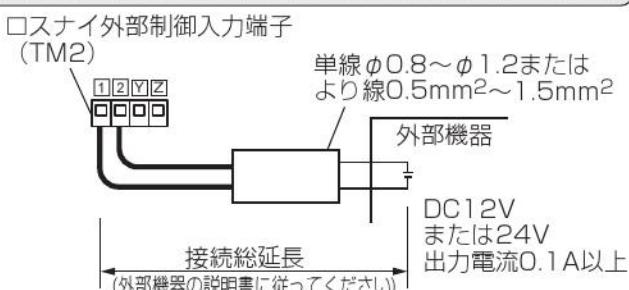
スリムエアコン人感ムーブアイと連動制御を行う場合

スリムエアコンの「人感ムーブアイ」により、人の「在室/不在」を検知し、不在時はロスナイが風量を微弱として省エネ運転します。

- 機能設定方法および制御詳細は、「据付工事説明書 別冊 15スリムエアコン連動制御設定」、「MAリモコンまたはスリムエアコンの据付工事説明書」をご確認ください。
- スリムZR 4方向天井カセット形〈ファインパワーカセット〉、2方向天井カセット形、1方向天井カセット形のムーブアイセンサーパネル接続が必要です。
- スリムエアコン対象形番は、最新の換気送風機総合カタログを確認ください。

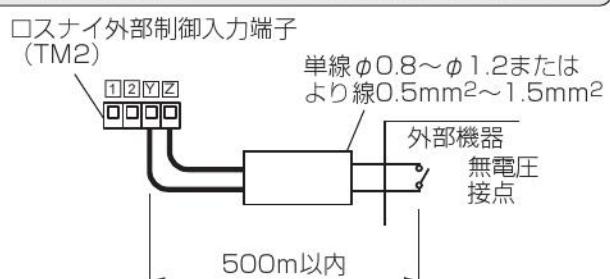
	ジーニアスリモコンがない場合	ジーニアスリモコンがある場合
システム構成		
操作	<ul style="list-style-type: none"> ●スリムエアコンの運転/停止に連動してロスナイも運転/停止します。 ●スリムエアコンのリモコンからロスナイの「停止」、「強風量運転」、「弱風量運転」を操作します。 <p>※スリムエアコンの運転中はロスナイを停止することはできません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●スリムエアコンの運転/停止に連動してロスナイも運転/停止します。 ●ジーニアスリモコンからもロスナイの運転/停止の操作が可能です。 <p>※スリムエアコンのリモコンからロスナイの操作・監視はできません。ロスナイの操作・監視はジーニアスリモコンから行ってください。</p>
機能説明	<ul style="list-style-type: none"> ●換気モードの操作はできません。「自動切換」固定となります。 ●スリムエアコン停止中にロスナイの単独運転が可能です。 ●「微弱風量運転」操作はできません。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スリムエアコン連動による運転/停止とジーニアスリモコン操作は後押優先となります。ただし、ジーニアスリモコンの操作ではスリムエアコンは運転/停止しません。 ●ジーニアスリモコンから換気モードの操作や微弱風量を選択することができます。
機能設定	<ul style="list-style-type: none"> ●MAリモコンのスリムエアコン機能設定 モード No.03 ロスナイ接続について、設定番号 2【接続有り(室内ユニット外気取入無し)】もしくは、設定番号 3【接続有り(室内ユニット外気取入有り)】を設定してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●MAリモコンのスリムエアコン機能設定 モード No.03 ロスナイ接続について、設定番号 1【接続無し】を設定してください。 <p>※スリムエアコンのリモコンに換気操作画面は表示されません。</p>

外部機器の出力信号が有電圧DC12Vまたは24Vのとき



- お客様手配の伝送線を介して外部機器からの出力信号を外部制御入力端子(TM2)の①②(無極性)に接続する。DC12VまたはDC24V入力時運転します。

外部機器の出力信号が無電圧接点のとき

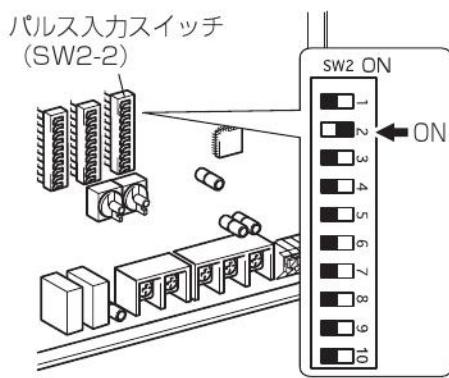


- お客様手配の伝送線を介して外部機器からの出力信号を外部制御入力端子(TM2)の④⑤に接続する。接点ON(閉)時運転します。

お願い

- リレー接点を使用する場合、DC15V/1mAを開閉できるリレーを使用してください。
- 無電圧接点にフォトカプラ等の有極性接点を使用する場合は、+側を④側を⑤側に接続してください。

3 ビル管理システム等パルス出力機器と連動する場合

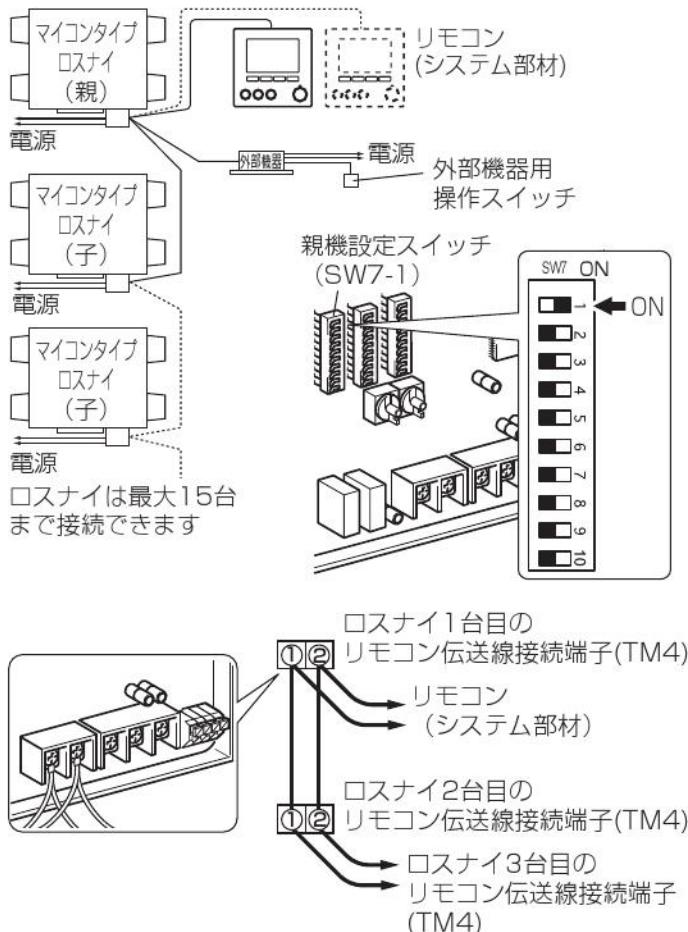


- (1) パルス入力スイッチ(SW2-2)を「ON」にします。
(2) ビル管理システム等のパルス信号出力を外部制御入力端子(TM2)に接続します。

パルス信号のタイプにより接続方法が異なります

- ②項「外部機器の出力信号が有電圧DV12Vまたは24Vのとき」、または「外部機器の出力信号が無電圧接点のとき」を参照してください。
- パルス信号のON時間は0.2秒以上、OFF時間は10秒以上にしてください。
 - パルス信号が入力されるごとに、運転/停止が反転します。
 - 「据付工事説明書 別冊 ①パルス入力設定」をあわせてご確認ください。

4 ロスナイを複数台運転する場合



- (1) リモコン伝送線接続端子 (TM4) の①② (無極性) をロスナイ1台目から2台目へ、2台目から3台目へ…最大15台までを伝送線で接続する。
線種：2芯シース付ケーブル
線径：0.3mm²

- (2) 外部機器と連動する場合 (②項または③項) 、外部信号を入力するロスナイの親機設定スイッチ (SW7-1) を「ON」に切換えます。

お願い

- 電源線およびM-NET伝送線を接続しないようにしてください。
- リモコン伝送線の接続方法は11ページを参照してください。

メモ

- 親機設定のロスナイは1台のみとしてください。親機設定のロスナイのみ外部機器の出力信号・パルス信号の接続ができます。
- 外部機器の信号を入力しない場合は、ロスナイ複数台運転であっても親機設定は必要ありません。
- 各ロスナイはそれぞれに電源を接続してください。

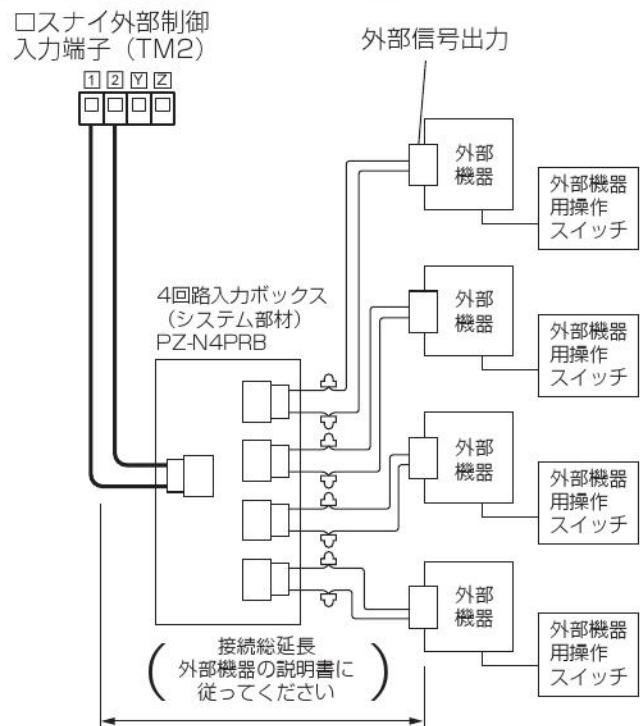
電気工事 つづき

5 複数の外部機器と連動する場合

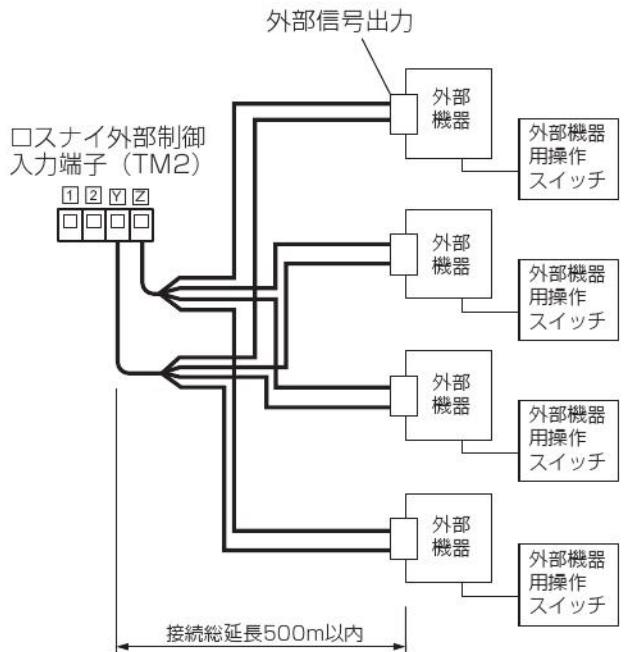
お願い

- 三菱スリムエアコンとロスナイ連動ケーブルで接続する場合、複数台運転はできません。外部機器の出力信号を利用して下さい。
- 線の抜差時、端子台を19.6Nより大きな力で押さえないで下さい。
- 外部機器の出力信号がパルス信号の場合、複数の外部機器と連動することはできません。

外部機器の出力信号が有電圧DC12Vのとき



外部機器の出力信号が無電圧接点のとき



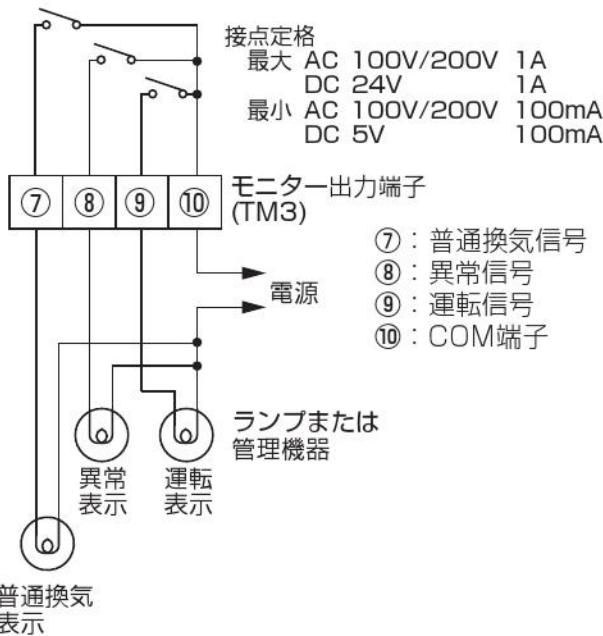
- システム部材の4回路入力ボックス(PZ-N4PRB)を使用して、外部制御入力端子(TM2)の①②(無極性)に接続する。

- 外部機器の出力信号を外部制御入力端子(TM2)のYに接続する。

お願い

- 無電圧接点にフォトカプラ等の有極性接点を使用する場合は、+側をYに-側をZに接続してください。

6 運転信号・異常信号・普通換気（バイパス換気）信号を取り出したい場合

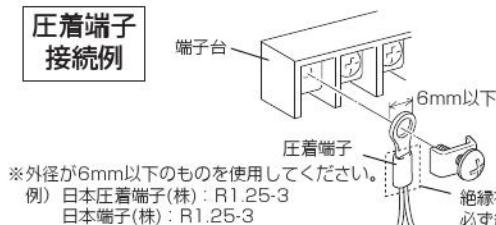


結線図を参照してモニター出力端子(TM3)に接続する。

お願い

- 端子台のネジは0.5N·mより大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。
- 端子台1か所に2本以上接続する場合は、圧着端子などを使用して確実に接続してください。

圧着端子接続例

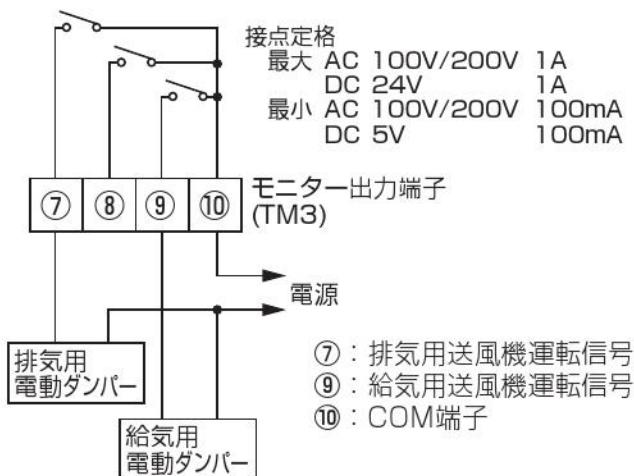


メモ

- 外部機器と連動する場合（②項または③項）、外部機器の入力信号に対する運転信号出力の応答時間は下表となります。

外部信号形態	応答時間
レベル信号	最大7sec
パルス信号	最大200msec

7 電動ダンパー・補助送風機等を接続する場合



結線図を参照して電動ダンパー、補助送風機等の電源線をモニター出力端子(TM3)に接続する。

- 給気用送風機の運転に連動させる場合
モニター出力設定スイッチ（運転 / 給気）(SW5-2) を「ON」にしてください。
- 排気用送風機の運転に連動させる場合
モニター出力設定スイッチ（普通換気 / 排気）(SW7-8) を「ON」にしてください。
- ロスナイの運転に連動させる場合、スイッチ設定は必要ありません。電動ダンパー等の電源線を⑨⑩に接続してください。
- 「据付工事説明書 別冊 8 モニター出力設定」をあわせてご確認ください。

お願い

- 端子台のネジは0.5N·mより大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。
- 端子台1か所に2本以上接続する場合は、圧着端子などを使用して確実に接続してください。
- 圧着端子の接続例は⑥項を参照ください。

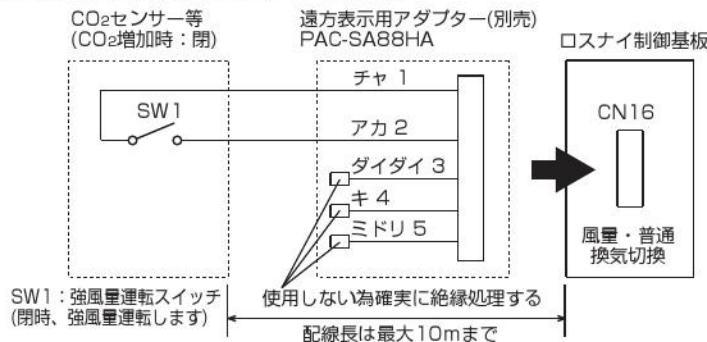
電気工事 つづき

8 外部で強/弱/微弱ノッチ切換をする場合(市販のCO₂センサー等と接続する場合)

市販のCO₂センサー等を、別売の遠方表示用アダプター（PAC-SA88HA）を用いて、図のように風量・普通換気切換入力コネクタ（CN16）へ接続します。

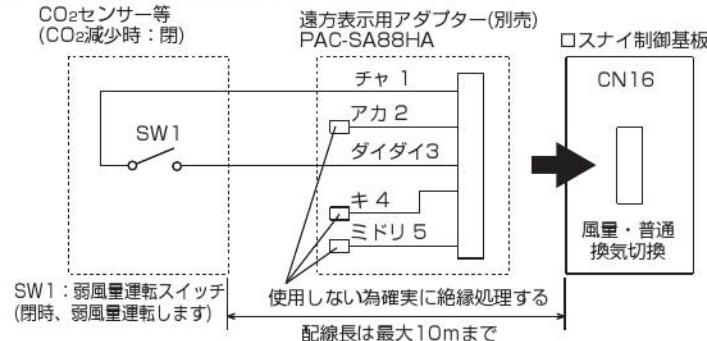
ロスナイを複数台運転する場合は、**4項**を参照して親機にのみ信号を入力してください。

■外部で強制強風量運転させる場合



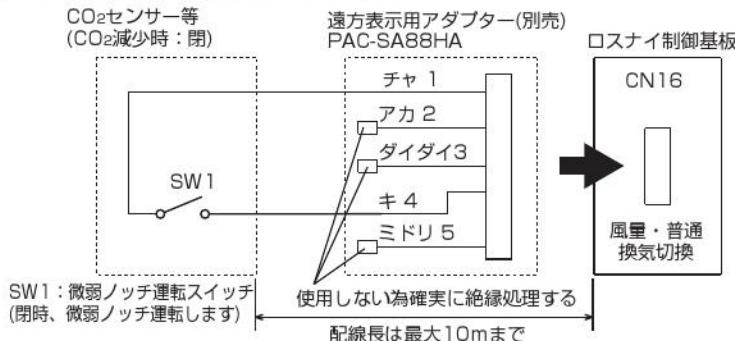
SW1 ON時はリモコンの設定に関係なくロスナイの風量は強（特強）風量となります。
常時弱または微弱運転で換気を行い、外部のセンサーで室内空気の汚れを検知したときに強（特強）運転になるような使い方をします。
※「据付工事説明書 別冊 ③マルチ換気モード設定」を「パワー給排気（工場出荷時）」以外でご使用の場合、本機能で強（特強）風量にすることはできません。

■外部で強制弱風量運転させる場合



SW1 ON時はリモコンの設定に関係なくロスナイの風量は弱となります。
常時強運転で換気を行い、外部のセンサーで室内空気の汚れが少ないとときに弱運転となるような使い方をします。

■外部で強制微弱運転させる場合

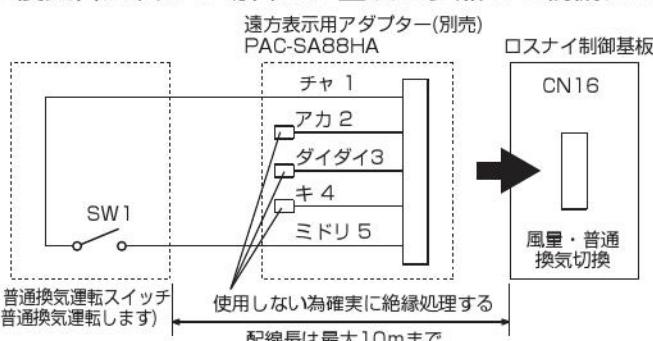


SW1 ON時はリモコンの設定に関係なくロスナイの風量は微弱となります。
常時強運転で換気を行い、外部のセンサーで室内空気の汚れが少ないとときに微弱運転となるような使い方をします。

9 外部で普通換気（バイパス換気）にする場合

外部機器を、別売の遠方表示用アダプター（PAC-SA88HA）を用いて、図のように風量・普通換気切換入力コネクタ（CN16）へ接続します。

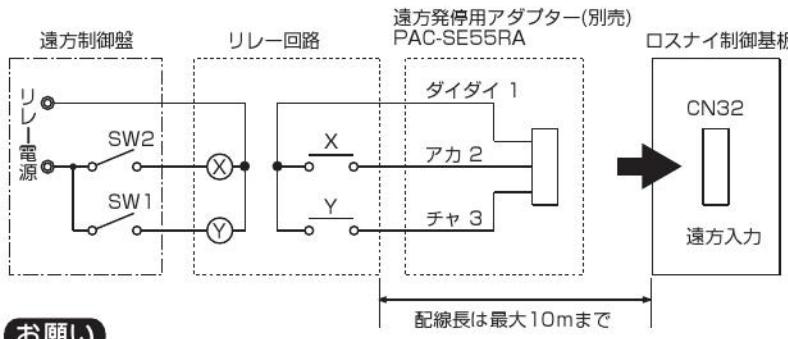
ロスナイを複数台運転する場合は、**4項**を参照して親機にのみ信号を入力してください。



SW1 ON時はリモコンの設定に関係なくロスナイの換気モードは普通換気となります。
※外気温度が8°C以下のときは熱交換換気となります。

10 遠方/手元切換・発停入力(レベル信号)を使用する場合

ロスナイ制御基板上の遠方入力コネクタ (CN32) へ別売の遠方発停用アダプター(PAC-SE55RA)を差し込む。ロスナイを複数台運転する場合は、**4項**を参照して親機にのみ信号を入力してください。



お願い

ジーニアスリモコンでナイトパージを使用する場合

緊急停止の用途など、停止中の送風機運転を禁止したい場合、緊急停止設定スイッチ (SW7-5) を「ON」にしてください。停止信号 (SW1 : ONかつSW2 : OFF) の入力時にナイトパージが禁止されます。

SW1 ON時はジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコンでの運転/停止ができません。

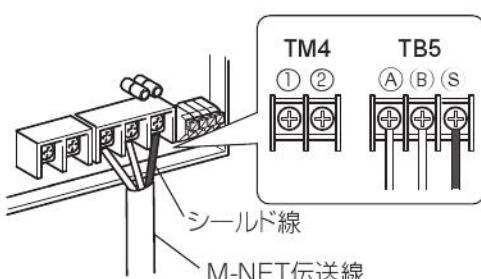
SW2 SW1がONの時、SW2のONでロスナイ運転、SW2のOFFでロスナイ停止ができます。

SW1：遠方／手元切換スイッチ

SW2：発停スイッチ

X, Y：リレー（接点定格DC15V 0.1A以上、最小適用負荷1mA以下）

11 三菱マルチエアコン、または三菱ビル空調管理システム(MELANS)と接続する場合



アドレス設定が必要です。(据付工事説明書 別冊を参照)

三菱マルチエアコンまたは三菱ビル空調管理システム(MELANS)からの伝送線を M-NET 伝送線接続端子 (TB5) のⒶⒷ(無極性)に確実に接続する。

種類：シールド線 (CVVS・CPEVS・MVVS)

線径：1.25mm²

最大給電距離：200m

(伝送線用給電ユニット、マルチエアコン室外ユニットなど)
(M-NET伝送線への給電元から最も遠いロスナイまでの距離)

最遠端距離：1km

M-NET 伝送線上 (マルチエアコン室外ユニットを経由した
(集中管理系、室内外系を含む)で最も遠い機器(ロスナイ、マ
ルチエアコン、システムコントローラなど)間の距離)

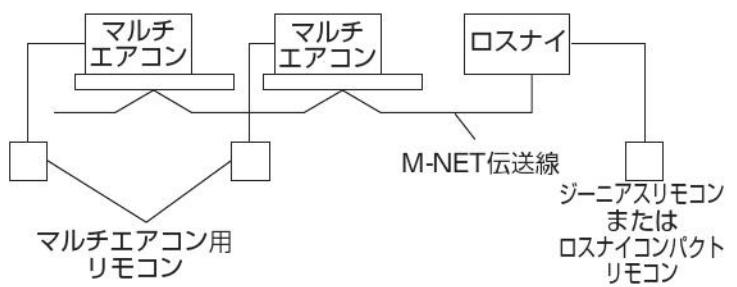
その他にも設計上の制約があります。詳細は「空調冷熱ネット
ワーク設計マニュアル」、「三菱ロスナイ技術資料」をご確認
ください。(三菱電機株式会社ホームページ「WIN²K」から
ダウンロードしてください)

お願い

- M-NET 伝送線には必ずシールド線を使用し、シールド処理を行ってください。
- 電源線およびジーニアスリモコン、ロスナイコンパクトリモコン伝送線を接続しないように注意してください。
- M-NET 伝送線の接続方法は**11**ページを参照してください。

三菱マルチエアコンと連動する場合

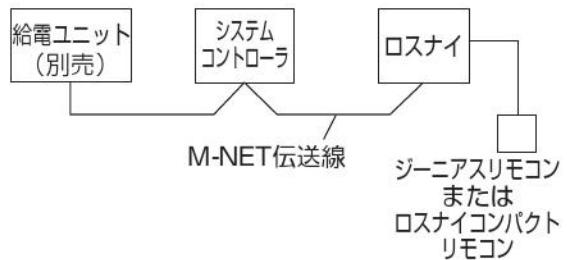
- ロスナイ1台につき最大16台のマルチエアコンと連動することができます。
- システムコントローラまたはマルチエアコンのリモコンから、マルチエアコンとロスナイの連動設定を行ってください。
- ジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコンを併用することができます。
- 複数のロスナイを連動させる場合、**4項**を参照して親機設定を行ってください。また、マルチエアコンとの連動設定は親機と行ってください。



電気工事 つづき

ロスナイを集中管理する場合

- 1グループ15台、最大50台のロスナイを集中管理することができます。
- システムコントローラからグループ設定を行ってください。
- ジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコンを併用することができます。
- 別売の伝送線用給電ユニットが必要となります。
※システムコントローラに給電機能が内蔵されている場合など、システム構成によって不要となる場合があります。



機能設定

据付工事説明書 別冊の機能設定で必要な機能を設定する。

据付工事後の確認

本体の据付工事が終わりましたら、下表に従ってもう一度点検してください。
不具合がありましたら必ず直してください。

試運転前に下記事項をご確認いただき、必ずチェックボックス☑をチェック願います。

(1) 製品据付チェック

- | | |
|---|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> 室外側ダクト2本には断熱材を巻き付けてありますか？ | 【ロスナイ本体天吊据付け・ダクト接続 ⑤ 参照】 |
| <input type="checkbox"/> 室外側ダクトは壁側に向かって1/30以上の下りこう配を確保していますか？ | 【標準据付例 参照】 |
| <input type="checkbox"/> 室外側ダクトは1m以上または2.5m以上の距離を確保していますか？ | 【標準据付例 参照】 |
| <input type="checkbox"/> 本体天吊据付角度は水平もしくは1°以内になっていますか？ | 【標準据付例 参照】 |
| <input type="checkbox"/> 天地逆設置の場合、水受皿の入れ替えは実施しましたか？ | 【天地逆設置で使用する場合 参照】 |

(2) 電気工事チェック

- | | |
|--|---------------|
| <input type="checkbox"/> 電源と本体形名、リモコンの組合せは正しいですか？ | 【結線図 参照】 |
| <input type="checkbox"/> 接続電線は結線図通り結線されていますか？ | 【結線図 参照】 |
| <input type="checkbox"/> 接続電線の端子台への接続は確実ですか？ | 【結線のしかた ② 参照】 |
| <input type="checkbox"/> 接続電線の固定は確実ですか？ | 【結線のしかた ② 参照】 |
| <input type="checkbox"/> 基板上のコネクタのはずれはありませんか？ | |
| <input type="checkbox"/> (200V機種の場合) アース線の接続は確実ですか？ | 【結線のしかた ③ 参照】 |
| <input type="checkbox"/> コントロールボックスカバーを取付けるネジは所定の位置で確実に締まっていますか？ | 【結線のしかた ⑤ 参照】 |

(3) 機能設定チェック

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 親機設定(SW7-1)の設定は正しいですか？ | 【据付工事説明書 別冊 参照】 |
| <input type="checkbox"/> アドレス設定スイッチ(SW11、SW12)の設定は正しいですか？ | 【据付工事説明書 別冊 参照】 |
| <input type="checkbox"/> 機能切換スイッチ(SW2、SW5、SW7)の設定は正しいですか？ | 【据付工事説明書 別冊 参照】 |
| <input type="checkbox"/> ジーニアスリモコンからの機能設定は正しいですか？
(詳細はジーニアスリモコンの据付工事説明書または
据付工事説明書 別冊(機能設定)を参照してください) | 【据付工事説明書 別冊 参照】
【リモコンの据付工事説明書または
据付工事説明書 別冊 参照】 |

※初期不具合を防止するため、必ず据付工事後の確認を実施いただき、お客様にお渡し願います。

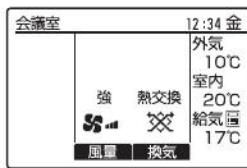
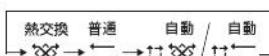
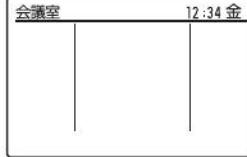
試運転

システム全体の設置完了後、天井板を張る前に誤結線がないか確認し、各システムのリモコン（外部機器用操作スイッチ等）の取扱説明書を参照して試運転を行ってください。

1 リモコンでの試運転

(1) ジーニアスリモコン (PGL-61DR₂) の場合

下記の要領で各ボタンを押して正常に運転されるかを確認してください。

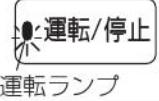
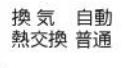
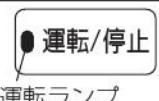
操作項目	操作部	表示部	手順
1. 通電		Please Wait 10%	電源投入する (最大3分間は起動準備のため「Please Wait」が表示されます)
2. 運転開始		 外気 10°C 室内 20°C 給気温度 17°C	運転/停止ボタンを押す (運転ランプ点灯)
3. 風量の切換	F2		F2ボタンを押す 「強」→「自動」(当社CO ₂ センサー接続時)→「微弱」→「弱」と切り換わる
4. 換気モードの切換	F3		F3ボタンを押す 「熱交換」→「普通」→「自動」と切り換わる
5. 運転停止			運転/停止ボタンを押す (運転ランプ消灯)

※バックライトが消えているときは最初のボタン操作でバックライトを点灯します。

この時、操作内容は受け付けません。（運転/停止ボタンは除く）

(2) ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF₂) の場合

下記の要領で各ボタンを押して正常に運転されるかを確認してください。

操作項目	操作部	表示部	手順
1. 通電			ロスナイに電源を供給します (「HO」が最大45秒点滅)
2. 運転開始			運転/停止ボタンを押す (運転ランプ点灯)
3. 換気モードの設定	換気モード		換気モードボタンを押す 「自動」切換→「熱交換」固定→「普通」固定と切り換わる
4. 風量の切換	風量		風量ボタンを押す 「強」または「弱」を選ぶ（「微弱」は選べません）
5. 運転停止			運転/停止ボタンを押す (運転ランプ消灯、通電表示のみ)

※設定する機能がないボタンを押した場合、「無効ボタン」を表示します。

※バックライトが消えているときは最初のボタン操作でバックライトを点灯します。

この時、操作内容は受け付けません。（運転/停止ボタンは除く）

試運転 つづき

2 ロスナイ単独の試運転

■機能切換スイッチ(SW2-1)の説明

SW2	OFF	ON	試 運 転 動 作
1			送風機用電動機（M1、M2）に通電され強（特強）風量で運転します。 普通換気切換用ダンパー板電動機(GM)に約1分間通電されダンパー板が動作します。

■下記の手順で動作の確認を行ってください。

1 運転開始

- 1.ロスナイに電源を供給する。
- 2.試運転スイッチ(SW2-1)を「ON」にする。
〔試運転動作〕
①強（特強）風量、普通換気で約1分間運転
②1分後、ダンパーがロスナイ換気に切り換わる
③強（特強）風量、ロスナイ換気で運転再開（SW OFFまで）
- 3.送風機の運転状態およびダンパー動作を確認する。
※風量は「据付工事説明書 別冊 6特強/強切換設定」によって異なります。工場出荷時は「強風量」に設定されています。

2 運転停止

試運転スイッチ(SW2-1)を「OFF」にする。

3 システム全体の中でのロスナイ試運転

■空調機または外部機器と連動運転システムの場合

- 空調機のリモコンスイッチまたは外部機器用操作スイッチを利用して空調機とロスナイの連動を確認する。
- 予熱時外気取り入れ停止設定されている場合（三菱マルチエアコンの場合、または三菱スリムエアコンとロスナイ連動ケーブルで接続する場合は冷暖起動時）は、予熱時外気取り入れ停止時間経過後にロスナイの運転を確認する。

■MELANSシステムの場合

- 三菱ビル空調管理システム（MELANS）にてロスナイの運転を確認する。

4 試運転時異常があった場合

現象	処置																				
ジニアスリモコン、ロスナイコンパクトリモコンの運転スイッチを押しても運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源確認（指定電源 100V または単相 200V、線径φ 1.6、開閉器容量） 結線の確認（TM4 の①②にリモコンからの伝送線が接続されているか確認） 伝送線の短絡、断線の確認（伝送端子間電圧が DC10 ~ 13V を確認） 伝送線と電源線および他の伝送線とが 5cm 以上離れているか確認 試運転スイッチ（SW2-1）にてロスナイ単独で運転を行いロスナイ運転を確認 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>ロスナイは運転する</td> <td>→</td> <td>伝送線を点検</td> </tr> <tr> <td>ロスナイは運転しない</td> <td>→</td> <td>電源の確認</td> </tr> </table> ジニアスリモコンもしくはロスナイコンパクトリモコンが 3 台以上取付けられていないか確認（最大 2 台まで） 伝送線総延長の確認（ロスナイーリモコン間、ロスナイーロスナイ間、リモコンーリモコン間の総合計 200m 以下） 		ロスナイは運転する	→	伝送線を点検	ロスナイは運転しない	→	電源の確認													
ロスナイは運転する	→	伝送線を点検																			
ロスナイは運転しない	→	電源の確認																			
M-NET 使用時、MELANS のシステムコントローラで運転スイッチを押しても運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源確認（指定電源 100V または単相 200V、線径φ 1.6、開閉器容量） 結線の確認（TB5 のⒶⒷに M-NET 伝送線が接続されているか確認） M-NET 伝送線上に給電があるか確認（伝送線用給電ユニットなどの給電が必要です） M-NET 伝送線の短絡、断線の確認（伝送端子間電圧が DC20 ~ 32V を確認） M-NET 伝送線と電源線および他の伝送線とが 5cm 以上離れているか確認 試運転スイッチ（SW2-1）にてロスナイ単独で運転を行いロスナイ運転を確認 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>ロスナイは運転する</td> <td>→</td> <td>伝送線を点検</td> </tr> <tr> <td>ロスナイは運転しない</td> <td>→</td> <td>電源の確認</td> </tr> </table> M-NET の最大給電距離、最遠端距離などの制約を確認（技術資料、空調冷熱ネットワーク設定マニュアル等を参照してください） システムコントローラへのロスナイの登録状態を確認（システムコントローラの取扱説明書を参照してください） 		ロスナイは運転する	→	伝送線を点検	ロスナイは運転しない	→	電源の確認													
ロスナイは運転する	→	伝送線を点検																			
ロスナイは運転しない	→	電源の確認																			
空調機、または外部機器と連動しない	<ul style="list-style-type: none"> パルス入力スイッチ（SW2-2）が「OFF」になっているか確認（ジニアスリモコンからも設定できます） 空調機または外部機器とロスナイ間の伝送線の総延長を確認（技術資料等を参照してください） 外部制御入力端子（TM2）の接続を確認 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>有電圧 DC12V または 24V 出力機器の場合</td> <td>外部制御入力端子 ①② に接続</td> </tr> <tr> <td>無電圧接点出力機器の場合</td> <td>外部制御入力端子 ④⑤ に接続</td> </tr> <tr> <td>三菱スリムエアコンとロスナイ連動ケーブルで接続する場合</td> <td>外部制御入力端子 ①② に接続</td> </tr> </table> 空調機リモコン、MELANS のシステムコントローラにて登録操作を行う（空調機リモコン、MELANS の取扱説明書による） 予熱時外気取り入れ停止設定されていないか確認 外部機器からの信号線を外部制御入力端子からはずして確認 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th></th> <th>運転信号</th> <th>停止信号</th> </tr> <tr> <td>有電圧 DC12V または 24V 出力機器</td> <td>DC12V または 24V</td> <td>DC0V</td> </tr> <tr> <td>無電圧接点出力機器</td> <td>抵抗 0 Ω</td> <td>抵抗無限大Ω</td> </tr> <tr> <td>三菱スリムエアコン</td> <td>DC2 ~ 6V (パルス信号)</td> <td>DC2 ~ 6V (パルス信号)</td> </tr> </table> ロスナイ複数台運転で外部制御入力端子に接続されているロスナイの親機設定スイッチ（SW7-1）が親設定になっているか確認、またはその他のロスナイは SW7-1 が OFF になっているか確認 		有電圧 DC12V または 24V 出力機器の場合	外部制御入力端子 ①② に接続	無電圧接点出力機器の場合	外部制御入力端子 ④⑤ に接続	三菱スリムエアコンとロスナイ連動ケーブルで接続する場合	外部制御入力端子 ①② に接続		運転信号	停止信号	有電圧 DC12V または 24V 出力機器	DC12V または 24V	DC0V	無電圧接点出力機器	抵抗 0 Ω	抵抗無限大Ω	三菱スリムエアコン	DC2 ~ 6V (パルス信号)	DC2 ~ 6V (パルス信号)	
有電圧 DC12V または 24V 出力機器の場合	外部制御入力端子 ①② に接続																				
無電圧接点出力機器の場合	外部制御入力端子 ④⑤ に接続																				
三菱スリムエアコンとロスナイ連動ケーブルで接続する場合	外部制御入力端子 ①② に接続																				
	運転信号	停止信号																			
有電圧 DC12V または 24V 出力機器	DC12V または 24V	DC0V																			
無電圧接点出力機器	抵抗 0 Ω	抵抗無限大Ω																			
三菱スリムエアコン	DC2 ~ 6V (パルス信号)	DC2 ~ 6V (パルス信号)																			
ロスナイが停止しない	<ul style="list-style-type: none"> 試運転スイッチ（SW2-1）が「OFF」になっているか確認 																				
コントロールボックス内部のロスナイ本体異常表示ランプ（LED1 緑）が点滅している	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">1 回</td> <td>100V 製品に 200V が印加されている 200V 製品に 100V が印加されている</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle; text-align: center;">製品の規定通りの電源電圧に切換えてください 電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください</td> </tr> <tr> <td>2 回</td> <td>ロスナイ側回路の故障</td> </tr> <tr> <td>4 回</td> <td>ロスナイ（OA 側）サーモ関係の故障</td> </tr> <tr> <td>5 回</td> <td>ロスナイ（RA 側）サーモ関係の故障</td> </tr> <tr> <td>9 回</td> <td>リモコン通信異常</td> </tr> <tr> <td>10 回 または 11 回</td> <td>機能設定エラー 同一グループで親機設定（SW7-1）が 2 台以上 ON になっている</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle; text-align: center;">外部信号を入力する製品を親機に、それ以外を子機に設定してください</td> </tr> <tr> <td>11 回</td> <td>リモコン給電異常 リモコン伝送線がショートしている</td> </tr> <tr> <td>点灯</td> <td>予熱時外気取り入れ停止中</td> <td>ロスナイの点滅・点灯は異常ではありません。</td> </tr> </table>		1 回	100V 製品に 200V が印加されている 200V 製品に 100V が印加されている	製品の規定通りの電源電圧に切換えてください 電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください	2 回	ロスナイ側回路の故障	4 回	ロスナイ（OA 側）サーモ関係の故障	5 回	ロスナイ（RA 側）サーモ関係の故障	9 回	リモコン通信異常	10 回 または 11 回	機能設定エラー 同一グループで親機設定（SW7-1）が 2 台以上 ON になっている	外部信号を入力する製品を親機に、それ以外を子機に設定してください	11 回	リモコン給電異常 リモコン伝送線がショートしている	点灯	予熱時外気取り入れ停止中	ロスナイの点滅・点灯は異常ではありません。
1 回	100V 製品に 200V が印加されている 200V 製品に 100V が印加されている	製品の規定通りの電源電圧に切換えてください 電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください																			
2 回	ロスナイ側回路の故障																				
4 回	ロスナイ（OA 側）サーモ関係の故障																				
5 回	ロスナイ（RA 側）サーモ関係の故障																				
9 回	リモコン通信異常																				
10 回 または 11 回	機能設定エラー 同一グループで親機設定（SW7-1）が 2 台以上 ON になっている	外部信号を入力する製品を親機に、それ以外を子機に設定してください																			
11 回	リモコン給電異常 リモコン伝送線がショートしている																				
点灯	予熱時外気取り入れ停止中	ロスナイの点滅・点灯は異常ではありません。																			
コントロールボックス内部の M-NET 系異常表示ランプ（LED2 赤）が点滅している	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">1 回 ~ 8 回</td> <td>M-NET 通信上の異常</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle; text-align: center;">電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください。 コントローラにて登録操作をしてください</td> </tr> <tr> <td>点灯</td> <td>登録操作をしていない</td> </tr> </table>		1 回 ~ 8 回	M-NET 通信上の異常	電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください。 コントローラにて登録操作をしてください	点灯	登録操作をしていない														
1 回 ~ 8 回	M-NET 通信上の異常	電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください。 コントローラにて登録操作をしてください																			
点灯	登録操作をしていない																				

■リモコンに異常情報が表示されたときはリモコンに付属の説明書に従って処置してください。

■外部機器の信号で運転させる場合はロスナイに電源が投入されてから約 2 分後に運転します。

お客様への説明

- 別冊の「取扱説明書」に従って正しい使いかたを説明してください。特に「安全のために必ず守ること」の項は安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。なお、物件などで使用者が不在の場合は、発注者（オーナーなど）または、管理会社へご説明ください。
- この「据付工事説明書」および「据付工事説明書 別冊」は、据付工事が終わりましたら、別冊の「取扱説明書」とともにお客様へ必ずお渡しください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、
再生紙を使用
しています。



三菱 業務用 ロスナイ

天井埋込形マイコンタイプ（フリープラン対応形）

LGH-N**RX3(D)

据付工事説明書 別冊（機能設定） 販売店・工事店様用

アドレスの設定

三菱マルチエアコンと連動する場合、三菱ビル空調管理システム（MELANS）と接続する場合はアドレス設定が必要です。

- 据付工事説明書の ① 項に従い三菱ビル空調管理システムに接続してください。
- アドレスは「1～50」の範囲で他の機器（ロスナイ、マルチエアコンなど）と重複しないよう、ロスナイ1台につき1つの番号を割り当ててください。
- 複数のロスナイでグループを作成する場合、同じグループのロスナイは連番でアドレスを割り当ててください。またグループ内で最も若いアドレスを割り当てたロスナイが、グループ内の親機となります。
- 以下の場合、据付工事説明書の ④ 項に従いロスナイ同士のリモコン伝送線接続端子をつないでください。
 - a. ジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコンで複数のロスナイを操作する場合
 - b. マルチエアコンと連動して複数のロスナイを操作する場合
 - c. 外部機器と連動（TM2 ①② または ③④ をご使用の場合）して複数のロスナイを操作する場合
 - d. 風量・普通換気切換入力（CN16）、遠方入力（CN32）で複数のロスナイを操作する場合
 - e. ジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコンを接続せず、空調冷熱総合管理システム（AE-200J）を使用してナイトページを行う場合
- ※ 三菱ビル空調管理システムのシステムコントローラでのみロスナイの操作を行うなど、上記に該当しない場合、リモコン伝送線接続端子の接続は不要となります。
- ※ 上記 b. でご使用の場合、グループ内で最も若いアドレスを割り当てた親機とマルチエアコンを連動させてください。
- ※ 上記 c. および d. でご使用の場合、グループ内で最も若いアドレスを割り当てた親機に信号を入力してください。
- 三菱ロスナイ技術資料、およびご使用の集中管理機器（システムコントローラなど）の据付工事説明書をあわせてご確認ください。

（グループとは）

三菱ビル空調管理システム上で機器を管理するための単位となります。

集中管理機器（システムコントローラなど）から同じグループに設定した機器を同時に操作することができます。

- ・ 1つのグループには最大16台までの機器を登録することができますが、グループ内にはロスナイ、マルチエアコンなど異なる製品を登録することはできません。
- ・ 複数のロスナイをジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコンで操作する場合など、リモコン伝送線接続端子をつないだロスナイは、三菱ビル空調管理システム上でも同じグループとして登録してください。
- ・ ジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコンをご使用の場合、1つのグループは最大15台までとなります。

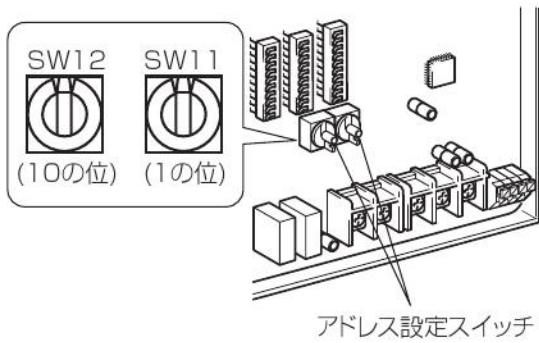
必ず元電源を切った状態で行ってください。

アドレス設定をする場合は下記により行ってください。

1. ネジ3本をゆるめてコントロールカバーを右側にスライドしてはす。
2. 基板上のアドレス設定スイッチを、マイナスドライバー等で回す。
- (SW12) は10の位、(SW11) は1の位を示します。
- 工場出荷時は「00」です。

※ ジーニアスリモコンをご使用の場合、アドレス設定を変更するとジーニアスリモコンから行った機能設定の内容が工場出荷値にリセットされます。アドレス設定は、ジーニアスリモコンからの機能設定前に行ってください。

※ LGH-N150, N200 タイプはメイン回路側にアドレス設定スイッチがあります。



機能切換スイッチ (SW2, 5, 7) の切換え

基板上の機能切換スイッチ (SW2, 5, 7) にて必要な機能設定を行います。

*の機能はジーニアスリモコンからも設定できます。あともジーニアスリモコンで機能を切換えた場合、ジーニアスリモコンの設定に従って動作します。それ以降、*の機能は機能切換スイッチから設定できません。ジーニアスリモコンから設定変更を行ってください。

* ジーニアスリモコンからの機能設定方法は、ジーニアスリモコンの据付工事説明書を参照してください。また「機能設定 No.50」の「一括りセット」を行った場合、「機能設定 No.1 ~ 99」の設定値が全て工場出荷時の値に戻ります。

お願い

- ・工事終了後、ジーニアスリモコンでロスナイの機能を変更した場合は、必ず設定内容を各表のチェック欄に○印などで記入して確認してください。(本体回路基板が破損した場合、設定内容を確認できない場合があります)
- ・本体回路基板を交換したときは、ジーニアスリモコンの機能設定を含め、交換前と同じ設定にしてください。

(SW2)

	OFF	ON	
1			試運転
2			① パルス入力設定 *
3			② 運転開始時パワー給排気設定 *
4			③ マルチ換気モード設定（給気側） *
5			④ マルチ換気モード設定（排気側） *
6			⑤ 電源復帰モード設定（電源発停） *
7			⑥ 自動換気モード制御設定 *
8			使用しません（OFFのこと）
9			⑦ 特強／強切換設定（給気） * LGH-N15 タイプ LGH-N25 タイプ （は使用しません （OFFのこと））
10			⑧ 特強／強切換設定（排気） * （は使用しません （OFFのこと））

(SW5)

	OFF	ON	
1			⑨ 予熱時外気取り入れ停止設定（遅延運転設定） *
2			⑩ モニター出力設定（運転／給気） *
3			⑪ 排気用送風機運転設定①*
4			⑫ 電源復帰モード設定（自動復帰） *
5			⑬ メンテナンス表示設定 *
6			使用しません（OFFのこと）
7			⑭ 連動モード設定 *
8			⑮ 排気用送風機運転設定②*
9			使用しません [LGH-N15~N100RX3D:ON のこと] [他:OFFのこと]
10			

(SW7)

	OFF	ON	
1			⑯ 親機設定
2			使用しません（OFFのこと）
3			⑰ CO ₂ センサー接続設定 * [CO ₂ センサー接続しない場合は OFF のこと]
4			⑱ スリムエアコン運動制御設定
5			⑲ 緊急停止設定 *
6			使用しません（OFFのこと）
7			⑳ 24 時間換気設定時の停止動作設定 *
8			㉑ モニター出力設定（普通換気／排気） *
9			㉒ 外気冷房時風量最大制御設定 *
10			使用しません（OFFのこと）

下記機能はジーニアスリモコンからのみ設定可能です。

⑤ 自動換気モード制御設定

- ・自由設定モード
- ・室内外温度差設定（自由設定モード時）
- ・外気温度下限値設定（自由設定モード時）
- ・室内温度下限値設定（自由設定モード時）

⑨ 送風機モニター出力設定

- #### ⑫ メンテナンス表示設定
- ・ロスナイエレメントメンテナンス表示
- #### ⑯ スリムエアコン運動制御「不在」検知時間設定
- #### ㉐ ナイトバージ外気温度判定時間設定

1 パルス入力設定

ビル管理システム等のパルス信号機器と運動する場合に設定します。

「パルス信号入力あり」でご使用の場合は、以下の機能が使用できません。

- 予熱時外気取り入れ停止設定（⑦ 項をご参考ください）
- 運動モード設定（⑯ 項をご参考ください）
- 24 時間換気設定
(ジーニアスリモコンの据付工事説明書をご参考ください)

スイッチ	本体回路		ジーニアスリモコン		モード
	スイッチ	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.	
SW2	ON	<input type="checkbox"/>		1	パルス信号入力なし (工場出荷時)
	OFF	<input checked="" type="checkbox"/>	2		
SW2	ON	<input type="checkbox"/>		28	パルス信号入力あり
	OFF	<input checked="" type="checkbox"/>	2		

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」(本体回路 SW 優先) になっています。

2 運転開始時パワー給排気設定

夜間停止時に室内の空気が汚れ、運転開始後急速換気したい場合に使用します。
運転開始時、30分間は強風量で運転します。30分経過後はリモコンの設定風量に切り換わります。

本体回路		ジーニアスリモコン		動作
スイッチ	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.	
SW2	ON OFF 3		1	通常（工場出荷時）
SW2	ON OFF 3		2	運転開始時、30分間は強風量で運転

※「③マルチ換気モード設定」を「パワー給排気（工場出荷時）」以外でご使用の場合は、本機能が使用できません。

※ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

3 マルチ換気モード設定

使用環境や設置場所に応じて給排気のバランスを調整するために使用します。
リモコンから強風量にした場合、本設定に従い給気および排気の送風機が運転します。

本体回路		ジーニアスリモコン		モード	動作
スイッチ	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.		
SW2	ON OFF 4 5		No.6=1 No.7=1	パワー給排気 (工場出荷時)	風量操作に従い給気および排気の送風機が運転します。
	ON OFF 4 5		No.6=1 No.7=2	パワー給気	排気用送風機は弱風量で運転します。 給気：強風量／排気：弱風量
	ON OFF 4 5		No.6=2 No.7=1	パワー排気	給気用送風機は弱風量で運転します。 給気：弱風量／排気：強風量
	ON OFF 4 5		No.6=2 No.7=2	省エネ換気	給気および排気の送風機はともに弱風量で運転します。 給気：弱風量／排気：弱風量

※ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

4 電源復帰モード設定

ロスナイに供給する元電源（100V または 200V）の入・切により運転・停止を行う場合は、電源発停に設定します。また停電復帰後、元の運転状態に復帰させたい場合は、自動復帰に設定します。

本体回路		ジーニアスリモコン		モード	動作
スイッチ	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.		
SW2-6 SW5-4	ON OFF 2-6 5-4		1	停止復帰 (工場出荷時)	電源投入時、ロスナイは停止します。
	ON OFF 2-6 5-4		2	電源発停	電源投入時、ロスナイは運転します。
	ON OFF 2-6 5-4		3	自動復帰	電源投入時、ロスナイは停電前の運転状態に復帰します。

※ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

5 自動換気モード制御設定

ロスナイ本体内部に組み込まれた 2つの温度センサーにより室内と外気の温度を検知し、自動的に「ロスナイ換気」と「普通換気（バイパス換気）」を切り換える自動換気モードの動作条件を設定します。
中間期などに普通換気（バイパス換気）で積極的に外気冷房を実施したい場合は、外気冷房優先モードに設定してください。普通換気を実施する条件（室内外温度差、外気温度、室内温度）を自由に設定したい場合は、ジーニアスリモコンで自由設定モードに設定してください。

メモ

空調機と連動運転している場合で、空調機が暖房または送風のときは、本設定によらずロスナイ換気固定となります。冷房のときは、室内温度下限値が空調機の設定温度となります。以下でご使用の場合が該当します。

- 三菱マルチエアコンと連動運転中
- 三菱スリムエアコンとロスナイ連動ケーブルで連動運転中

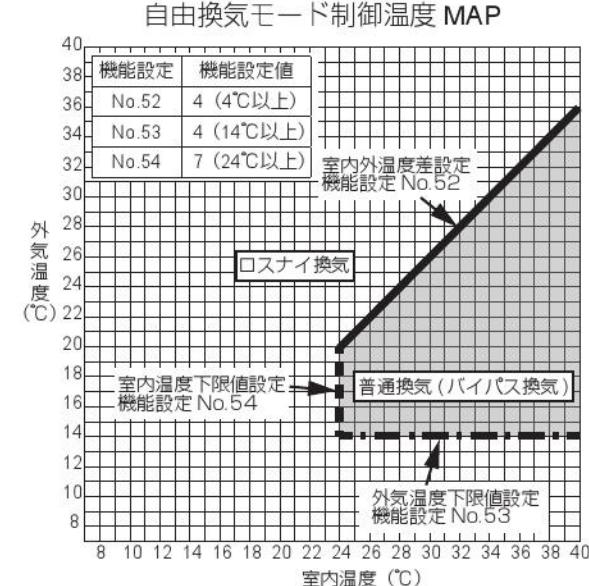
■自動換気モード設定

本体回路			ジーニアスリモコン			動作		
スイッチ	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック			
SW2	ON OFF 7		51	1		通常モード（工場出荷時）		
	ON OFF 7			2		外気冷房優先モード		
	-	-		3		自由設定モード（ジーニアスリモコンからのみ設定できます）		

*ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

自由設定モードのご使用方法

- ジーニアスリモコンをご使用の場合のみ設定を変更することができます。
- 以下の条件をすべて満たしたとき、普通換気（バイパス換気）に切り換ります。
自由設定モードでは、室内外温度差、室内温度下限値、外気温度下限値を自由に設定することができます。
 - a. (室内温度 - 外気温度) ≥ 室内外温度差（工場出荷時：4°C）
 - b. 外気温度 ≥ 外気温度下限値（工場出荷時：14°C）
 - c. 室内温度 ≥ 室内温度下限値（工場出荷時：24°C）
- 自由換気モード制御温度 MAP は工場出荷時設定を示しています。



*下記以外の値に設定することはできません。

■室内外温度差設定

ジーニアスリモコン			動作		
機能設定 No.	機能設定値	チェック			
52	0		0°C以上		
	1		1°C以上		
	2		2°C以上		
	3		3°C以上 *2		
	4		4°C以上（工場出荷時） *1		
	5		5°C以上		
	6		6°C以上		
	7		7°C以上		

■室内温度下限値設定

ジーニアスリモコン			動作		
機能設定 No.	機能設定値	チェック			
54	0		17°C以上		
	1		18°C以上		
	2		19°C以上		
	3		20°C以上		
	4		21°C以上		
	5		22°C以上		
	6		23°C以上		
	7		24°C以上（工場出荷時） *1*2		
	8		25°C以上		
	9		26°C以上		
	10		27°C以上		
	11		28°C以上		
	12		29°C以上		
	13		30°C以上		

■外気温度下限値設定

ジーニアスリモコン			動作		
機能設定 No.	機能設定値	チェック			
53	0		10°C以上		
	1		11°C以上		
	2		12°C以上 *2		
	3		13°C以上		
	4		14°C以上（工場出荷時） *1		
	5		15°C以上		
	6		16°C以上		
	7		17°C以上		
	8		18°C以上		
	9		19°C以上		
	10		20°C以上		
	11		21°C以上		
	12		22°C以上		
	13		23°C以上		

*1 通常モード設定値

*2 外気冷房優先モード設定値

6 特強 / 強切換設定

風量を多く必要とする場合や、ダクト配管が長い場合に使用します。

リモコンから強風量にした場合、本設定に従い給気および排気の送風機が運転します。

本体回路			ジーニアスリモコン		動作	
スイッチ	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック	
SW2	ON OFF 9		16	1		給気用送風機 強運転（工場出荷時）
	ON OFF 9			2		給気用送風機 特強運転
	ON OFF 10		17	1		排気用送風機 強運転（工場出荷時）
	ON OFF 10			2		排気用送風機 特強運転

*ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

* LGH-N15, N25 タイプは本スイッチを OFF 設定のままにしてください。ON にすると正常に動作しません。

* LGH-N15, N25 タイプを含むグループではジーニアスリモコンから一括設定をしないでください。

機能切換スイッチで LGH-N15, N25 タイプ以外の設定を行うか、アドレス設定を行っている場合は個別設定を行ってください。

7 予熱時外気取り入れ停止設定（遅延運転設定）

空調機と連動運転する場合に、ロスナイの運転開始を設定時間だけ遅らせることで空調機の温調効果を高めます。

- 以下でご使用の場合、空調機が冷房または暖房で運転開始時に本機能が有効となります。
 - 三菱マルチエアコンと連動する場合
 - 三菱スリムエアコンとロスナイ連動ケーブルで連動する場合
- 上記以外の空調機と連動（TM2 ①② または④⑤をご使用の場合）する場合、空調機の運転開始時に本機能が有効となります。暖房、冷房などの運転モードによりません。
- ロスナイが停止してから 2 時間以内に運転開始した場合、本機能は無効となります。遅延せず、すぐに運転します。

本体回路			ジーニアスリモコン			動作
スイッチ	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック	
SW5	ON OFF 1		9	1		通常（工場出荷時）
	- *1			2		遅延動作 15 分
	ON OFF 1			3		遅延動作 30 分

*ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

* 「①パルス入力設定」で、「パルス信号入力あり」に設定した場合は、本機能を使用できません。

*1 ジーニアスリモコンからのみ設定可能です。

8 モニター出力設定

モニター出力端子（TM3）から取り出せる出力信号を用途に応じて切り換えることができます。

電動ダンパー、補助送風機などを送風機の運転に連動させたい場合は、送風機モニター出力に設定してください。

本体回路			ジーニアスリモコン		出力端子	動作
スイッチ	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.	機能設定値		
SW5	ON OFF 2		12	1	TM3 ⑨⑩	運転モニター出力設定 ロスナイの運転時に ON*1 します。（工場出荷時）
	ON OFF 2			2		給気送風機モニター出力設定 給気用送風機の運転時に ON*1 します。
SW7	ON OFF 8		44	1	TM3 ⑦⑩	普通換気（バイパス換気）モニター出力設定 ダンパー動作が普通換気時に ON*1 します。（工場出荷時）
	ON OFF 8			2		排気送風機モニター出力設定 排気用送風機の運転時に ON*1 します。

*ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

*下記出力は同時に取出すことはできません。

- 運転モニターと給気用送風機モニター
- 普通換気モニターと排気用送風機モニター

*1 モニター出力端子の接点が閉（ショート）となります。

9 送風機モニター出力設定

「⑧ モニター出力設定」を給気または排気の送風機モニターとしてご使用の場合のみ設定してください。

給気および排気の風量に応じて、モニター出力信号を取り出すことができます。送風機が弱風量以上で運転時のみ、補助送風機を連動して運転させたい場合などに使用します。

■給気用送風機モニター出力設定

機能設定 No.	機能設定値	モード	動作
45	0	通常	給気用送風機の運転時に ON*1 します。(工場出荷時)
	1	弱以上	弱風量または強風量で運転時に ON*1 します。
	2	強	強風量で運転時に ON*1 します。

■排気用送風機モニター出力設定

機能設定 No.	機能設定値	モード	動作
46	0	通常	排気用送風機の運転時に ON*1 します。(工場出荷時)
	1	弱以上	弱風量または強風量で運転時に ON*1 します。
	2	強	強風量で運転時に ON*1 します。

*ジーニアスリモコンからのみ設定可能です。

*1 モニター出力端子の接点が閉(ショート)となります。

10 排気用送風機運転設定①

空調機とロスナイのダクトを接続してご使用の場合(※)のみ設定してください。霜取運転などで空調機の送風機が停止した場合、運動してロスナイの給気用送風機が停止します。このときの排気用送風機の動作を選択することができます。

- 以下でご使用の場合、本機能が有効となります。

- 三菱マルチエアコンと運動する場合
- 三菱スマートエアコンとロスナイ運動ケーブルで運動する場合

* 空調機で外気取り入れ設定を有効にした場合が対象となります。詳細は空調機の据付工事説明書をご参照ください。

本体回路	ジーニアスリモコン	モード	動作				
スイッチ	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック	モード	動作
SW5	ON OFF 3		13	1	停止	排気用送風機が停止します。 給気：停止／排気：停止	
	ON OFF 3			2	運転	リモコンの設定風量で運転します。 給気：停止／排気：運転(工場出荷時)	

*ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」(本体回路 SW 優先) になっています。

11 排気用送風機運転設定②

外気温度が低温(-15°C 以下)の時は製品保護のため、給気用送風機が間欠運動(寒冷地運転)を行いますが、その時の排気用送風機の動作を設定します。

本体回路	ジーニアスリモコン	モード	動作				
スイッチ	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック	モード	動作
SW5	ON OFF 9		14	1		運転	リモコンの設定風量で運転します。 給気：停止／排気：運転(工場出荷時)
	ON OFF 9			2		弱運転	排気用送風機は弱風量で運転します。 給気：停止／排気：弱風量

*ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」(本体回路 SW 優先) になっています。

12 メンテナンス表示設定

リモコンへのメンテナンス(お手入れ時期)表示を設定します。

- エアフィルター 運転積算時間が 3,000 時間で表示します。三菱マルチエアコンとの運動、および三菱ビル空調管理システムでご使用の場合、それらのリモコンにも表示されます。
- ロスナイエレメント ロスナイ換気での運転積算時間が 6,000 時間で表示します。ジーニアスリモコンをご使用の場合のみ表示が可能です。

本体回路	ジーニアスリモコン	メンテナンス表示				
スイッチ	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック	メンテナンス表示
SW5	ON OFF 5		1	1		エアフィルターメンテナンス表示する(工場出荷時)
	ON OFF 5			2		エアフィルターメンテナンス表示しない
-	- *1	/	2	0		ロスナイエレメントメンテナンス表示しない(工場出荷時)
	- *1	/		1		ロスナイエレメントメンテナンス表示する

*機能設定 No.1 のジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」(本体回路 SW 優先) になっています。

*1 ジーニアスリモコンからのみ設定可能です。

- メンテナンス表示が点灯しましたら、エアフィルターまたはロスナイエレメントを清掃後、リモコンの取扱説明書に従ってメンテナンス表示をクリアしてください。

13 連動モード設定

空調機または外部機器との連動運転中に、リモコンからの停止操作を禁止することができます。

- 以下でご使用の場合、本機能が有効となります。

- 三菱マルチエアコンとの連動運転中
- 外部機器との連動運転中 (TM2①② または団形をご使用の場合)

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」(本体回路 SW 優先) になっています。

※ 「① パルス入力設定」で、「パルス信号入力あり」に設定した場合は、連動モードは使用できません。

スイッチ	本体回路			ジーニアスリモコン			モード	動作
	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック			
SW5	ON OFF	□ □ 7 8	15	1		通常 (工場出荷時)	連動運転中もリモコンによる停止操作ができます。	
	ON OFF	□ □ 7 8		4		外部連動優先		

14 親機設定

複数のロスナイを1つの信号入力で連動制御する場合、1台を親機に設定して信号入力を行ってください。

- 下記で制御する場合

- 外部機器の信号入力 (TM2)
- 遠方入力 (CN32)

※ ジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコンを使用しない場合、据付工事説明書の④項に従いロスナイ同士のリモコン伝送線接続端子をつないでください。

- ジーニアスリモコンを使用して下記で制御する場合

- CO₂センサー入力 (CN12)
- 風量・普通換気切換入力 (CN16)

※ ジーニアスリモコンを使用しない場合、連動制御はできません。
ロスナイごとに信号入力を行ってください。

- ロスナイのアドレス設定を行なう場合、本設定は不要です。
グループ内で最も若いアドレスのロスナイが親機となります。
詳細は本書の「アドレスの設定」をご参照ください。

スイッチ	本体回路			モード	動作
	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.		
SW7	ON OFF	□ 1	56	—	外部信号を入力しません。 (工場出荷時)
	ON OFF	□ 1		親機	外部信号を入力します。

15 スリムエアコン連動制御設定

スリムエアコンの「人感ムーブアイ」により、人の「不在」を検知した場合、ロスナイの風量を微弱とすることで省エネ運転します。

※ 三菱スリムエアコンとロスナイ連動ケーブルで接続する場合のみ、本機能が有効となります。

※ スリムエアコンが停止中(ロスナイの単独運転中)、試運転中、異常中、床温度 28°C 以上の時は、本機能が無効となります。

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」(本体回路 SW 優先) になっています。

スイッチ	本体回路			ジーニアスリモコン			モード	動作
	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック			
SW7	ON OFF	□ 4	56	1		通常	リモコンの設定風量で運転 (工場出荷時)	
	ON OFF	□ 4		2		スリムエアコン連動		

16 スリムエアコン連動制御「不在」検知時間設定

スリムエアコンの「人感ムーブアイ」による人の「不在」検知時間の設定を行います。設定時間以上、不在の続いた場合には、微弱風量で運転します。(16 の設定が必要です)

※ 三菱スリムエアコン運転開始時、人感ムーブアイは約 10 分間準備運転となり、準備運転中は不在検知しません。

機能設定 No.	ジーニアスリモコン		動作
	機能設定値	チェック	
57	0		連続 60 分(工場出荷時)
	1		連続 50 分
	2		連続 40 分
	3		連続 30 分
	4		連続 20 分
	5		連続 10 分

17 緊急停止設定

ジーニアスリモコンでナイトページをご使用になる場合のみ設定してください。

遠方入力 (CN32) で製品停止後、ナイトページによる送風機の自動運転を禁止します。

※ 外部機器との連動 (TM2①② または団形をご使用の場合) で製品を停止させた場合は、本設定に関係なくナイトページを行います。

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」(本体回路 SW 優先) になっています。

※ 三菱ビル空調管理システムで集中管理機器(システムコントローラなど)を設置する場合、緊急停止は集中管理機器から行ってください。本機能は使用しないでください。

スイッチ	本体回路			ジーニアスリモコン			モード	動作
	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック			
SW7	ON OFF	□ 5	65	1		通常停止	遠方入力で製品停止させた場合、ナイトページを行う。(工場出荷時)	
	ON OFF	□ 5		2		緊急停止		

18 24時間換気設定時の停止動作設定

24時間換気をご使用になる場合のみ設定してください。

空調機または外部機器からの停止信号、24時間換気に対応していないシステムコントローラからの停止操作で、ロスナイを停止させるか、24時間換気を行うか選択することができます。

本体回路		ジーニアスリモコン		動作			
スイッチ	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック		
SW7	ON OFF 7		26	1		システムコントローラの停止操作：停止 空調機または外部機器の停止信号：停止（工場出荷時）	
	ON OFF 7			2		システムコントローラの停止操作：24時間換気 空調機または外部機器の停止信号：24時間換気	
	- *1	/		3		システムコントローラの停止操作：停止 空調機または外部機器の停止信号：24時間換気	
	- *1	/		4		システムコントローラの停止操作：24時間換気 空調機または外部機器の停止信号：停止	

* ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

* 本設定のみで 24 時間換気を行うことはできません。ジーニアスリモコンまたは 24 時間換気に対応したシステムコントローラが必要となります。

* ロスナイコンパクトリモコンまたは遠方入力（CN32）で停止した場合、および停止信号がパルス信号の場合は、本機能で 24 時間換気を行うことができません。

*1 ジーニアスリモコンからのみ設定可能です。

19 外気冷房時風量最大制御設定

普通換気（バイパス換気）で運転中はリモコンの設定風量に関係なくロスナイを最大風量（強風量）で運転させて、外気を積極的に取り入れることができます。

●本制御中に風量を操作した場合は、操作した風量に従って運転します。次回、運転操作を行うまで本制御が無効となります。

本体回路		ジーニアスリモコン		モード	動作
スイッチ	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック
SW7	ON OFF 9		55	1	
	ON OFF 9			2	有効

* ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

* 「**3 マルチ換気モード設定**」を「パワー給排気（工場出荷時）」以外でご使用の場合、または CO₂ センサー入力（CN12）をご使用の場合、本機能が使用できません。

20 ナイトページ外気温度判定時間設定

ナイトページをご使用時のみ設定してください。またジーニアスリモコンの据付工事説明書の「ナイトページ設定」とあわせてご確認ください。

ナイトページ開始条件の外気温度判定時間を変更することができます。

ジーニアスリモコン		外気温度判定時間
機能設定 No.	機能設定値	チェック
33	0	24 時間
	1	48 時間
	2	72 時間（工場出荷設定）

* ジーニアスリモコンからのみ変更可能です。

21 CO₂ センサー接続設定

システム部材 CO₂ センサーを接続し、CO₂ センサーによる風量自動制御を実施する場合に設定します。

メモ

●本製品は、CO₂ センサーによる風量自動制御中（風量操作で「自動」を選択中）、リモコンからの換気モード設定に関わらず、ロスナイ換気固定で運転します。（CO₂ センサー制御中は普通換気にすることはできません）

●CO₂ センサー接続設定を変更した場合、ジーニアスリモコンで風量操作を行い「自動」の選択可否を確認してください。

（接続あり（有効）：「自動」選択可能）

（接続なし（無効）：「自動」選択不可）

本体回路		ジーニアスリモコン		モード	動作
スイッチ	スイッチ設定	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック
SW7	ON OFF 3		21	1	
	ON OFF 3			2	有効

* ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

* CO₂ センサーの制御詳細および設定方法は、CO₂ センサーの据付工事説明書、ロスナイ技術資料等を参照ください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、
再生紙を使用
しています。